

消 防 年 報

2021



令和3年5月運用開始 伊賀良23号車

令和3年度刊行
飯田広域消防本部



minami
shinshu
ニッポンの日本。

はじめに

この消防年報は、南信州広域連合飯田広域消防本部の現勢と、令和2年度中における消防業務の実態と統計を収録したものです。

今後の消防行政の円滑な推進を図るとともに、当消防本部に対する御理解を深めていただくための参考資料として御活用願えれば幸いです。

なお、諸表における数値は、主に会計年度でまとめてありますが、火災、救急、救助等の統計については暦年でまとめてあります。

令和3年8月

南信州広域連合 飯田広域消防本部

目 次

一目統計	
令和3年度 飯田広域消防の主な事業計画	1
消防の沿革	2
火災史	10
飯田広域消防管内地勢	12
署所等の所在地	13
関係市町村別面積・人口・世帯数	13
消防庁舎等概要	14
総 務	
南信州広域連合理事者等	18
歴代消防長	18
南信州広域連合組織機構図	19
飯田広域消防本部組織機構と職員配置	20
職員階級別年齢	21
職員階級別勤続年数	21
消防予算	22
予 防	
防火対象物の現況	24
中高層建物の状況	26
防火対象物の予防査察実施状況	27
防火対象物の防火管理状況	28
防火管理者資格取得講習会実施状況	29
消防同意事務件数	30
危険物施設の状況	31
危険物施設立入実施件数	32
各種申請届出書受理件数	32
警 防	
消防機械等の現況	34
特殊災害等対応資機材配置状況	37
緊急消防援助隊等の派遣実績	38
地震被害想定	40
通信指令	41
統 計	
火 災	
月別 出火状況	46
市町村別 出火件数	47
最近5年間の出火状況	47
市町村別 損害額・出火率	48
原因別 出火件数	49
時間帯別 出火状況	50
覚知別 通報状況	50

救 急

月別・署別 救急出動件数	51
月別・事故種別 救急出動件数	51
年齢区分・事故種別 搬送人員	52
救急隊員の行った応急処置	53
市町村別・事故種別 救急業務実施状況	54
医療機関別・事故種別 搬送人員	56
最近5年間の救急出動件数	57
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	57
飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況	57

救 助

救助出動状況	58
人員・車両区分別 救助活動状況	58
市町村別・事故種別 救助出動状況	59
月別・署別 救助出動件数	60
最近5年間の救助出動件数	60

その他

ヘリコプターとの連携状況	61
種別・署別 出動状況	62
月別 119番等緊急通報受付状況	64
月別・受付回線別 119番等緊急通報受付状況等	64
知事の権限に属する事務の処理の概要	65

消 防 団

関係市町村の消防団長・副団長	68
消防団の現況	69

関係団体

南信州危険物安全協会	72
飯田地区防火管理者協議会	72
飯田地区幼少年婦人防火委員会	73

一 目 統 計

令和3年4月1日現在(令和3年度消防現勢等調査の数値)

市町村	面積(k㎡)	人口(人)	世帯数(戸)	消防団員数(人) ()は内数で女性団員数		各市町村 常備消防費(千円)
飯田市	658.66	98,921	40,064	1,038	(60)	1,002,586
松川町	72.79	12,910	4,726	257	(8)	170,974
高森町	45.36	12,949	4,516	143	(11)	168,167
阿南町	123.07	4,386	2,005	146	(7)	92,983
阿智村	214.43	6,157	2,353	350	(6)	126,127
平谷村	77.37	403	200	38	(0)	14,239
根羽村	89.97	882	410	41	(5)	23,655
下條村	38.12	3,649	1,290	140	(3)	71,624
売木村	43.43	508	257	33	(2)	14,625
天龍村	109.44	1,192	669	46	(5)	32,564
泰阜村	64.59	1,553	667	79	(0)	36,092
喬木村	66.61	6,173	2,131	165	(7)	99,292
豊丘村	76.79	6,709	2,206	99	(10)	104,322
大鹿村	248.28	963	477	44	(10)	34,702
合 計	1,928.91	157,355	61,971	2,619	(134)	1,991,952

令和3年4月1日現在

署所数		消防職員数		予 算
消防本部	1本部(3課)	条例定数	217人	飯田広域消防特別会計 予算総額 2,133,400千円 (令和3年度当初予算)
消防署	4署	定員	217人	
分署	6分署	(内 女性)	4人	

令和2年中

火災件数		救急件数		救助件数	
出火件数	75件	出動件数	6,615件	出動件数	87件
(内訳)		搬送人員	6,352人	活動件数	68件
建物火災	31件	(主な事故種別)		救助人員	68人
林野火災	3件	急病	4,408件	(主な事故種別)	
車両火災	6件	一般負傷	1,076件	交通事故	28件
その他	35件	交通事故	360件	機械による事故	8件
(主な出火原因)		労働災害	71件	建物等による事故	7件
1位 たき火	21件	自損行為	46件	水難事故	7件
2位 放火及び放火の疑い	6件	(その他)	654件	火災	3件
3位 たばこ	5件			(その他)	34件

令和3年6月1日現在

消防車両等 合計70台(無人航空機含む)					
ポンプ車	13台	水槽車	1台	支援車	3台
小型ポンプ付積載車	2台	救急車	14台	査察広報車	15台
はしご車	1台	人員搬送車	1台	連絡車等	4台
化学車	1台	資機材搬送車	4台	一般車	1台
救助工作車	2台	指揮車	4台	二輪車	1台
				無人航空機(ドローン)	4台

令和3年度 飯田広域消防の主な事業計画

○ 地域防災力強化と次世代育成事業

- 消防団と連携した住民対象の防災教育の推進
- 災害現場における消防団との連携強化
- 幼年・少年消防クラブの結成支援及び啓発活動

○ 災害対応力の充実強化事業

- 人材育成（外部研修派遣）
- 防火対象物の違反是正に向け、重要案件に対する対応強化
- 近年の風水害に対応したスキルの強化及び即応体制の整備
- 現場活動資機材の整備（消防活動安全対策、救急活動強化）

○ 消防施設等の維持及び更新事業

- 消防車両の更新整備
 - ・ 高規格救急車の更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）
- 消防施設の維持、改修等
 - ・ 総合点検結果に基づく施設改修工事
 - ・ いいむす 21 の推進に基づく庁舎 LED 化

○ 圏域消防力の充実強化事業

- 高森消防署の基本設計及び検討
- 消防力適正配置の研究(遠隔地対策)(南西部、中央ブロックの研究)
- 指令施設の今後に係る方向性の検討
 - ・ 指令施設の改修

消防の沿革

1 飯田市編

- 昭和17年 4月 太平洋戦争の戦局が一段ときびしさを増し、戦時下の防火体制を強化するために警防団に常備消防班が設置され、消防ポンプ自動車1台、常備消防隊13名の陣容によって発足する。
隊長に田中西造氏就任
- 昭和22年 9月 消防団令公布により飯田市警防団を廃止、新たに飯田市消防団を組織し発足する。
消防団長に木下陽康氏就任
- 昭和22年12月 消防組織法公布
- 昭和23年 3月 消防組織法に基づき「飯田市消防本部」、「飯田市消防署」を創設
飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市上飯田6184番地に設置
初代消防長に、福沢福男氏就任
- 昭和23年 7月 消防法公布
- 昭和26年10月 飯田市消防本部、消防署庁舎を飯田市鈴加町2丁目4番地に移転
- 昭和38年12月 新消防庁舎竣工(業務開始：12月23日)
- 昭和39年 7月 飯田市消防本部(署)の組織及び庶務に関する規則制定
消防本部に2課(総務課、防災課)6係設置
- 昭和39年10月 飯田市が鼎町・上郷村・高森町・喬木村の救急業務を受託(昭和39年10月1日)
- 昭和40年 4月 上飯田地区に「消防署第1分署」を新設

2 飯田市及び消防組合編

- 昭和43年 4月 飯田・鼎・上郷消防組合を設立、「組合消防署」を飯田市松尾上溝地籍に設置
(業務開始：5月1日)
- 昭和44年 8月 8月5日、神戸市立御影工業高校菅教諭をリーダーとする一行7名が、松川入り蜂の巣小屋で就寝中に、台風7号による豪雨で発生した土石流の犠牲となった。
8月7日～8月11日(5日間)消防団による捜索隊を編成し、西俣川・松川一円の捜索を行った。
- 昭和45年 4月 組合消防署救急業務開始
- 昭和46年 3月 広域消防体制の発足に伴い飯田市消防本部(署)解散

3 消防組合編 「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」

- 昭和46年 3月 政令指定に伴い、1市2町(飯田市、下伊那郡鼎町、上郷町)による「飯田・鼎・上郷消防組合本部・消防署」発足
- 昭和46年 5月 「西分署」を飯田市伊賀良に新設(業務開始：5月1日)
- 昭和47年10月 通信室を新設、一斉指令装置新設、業務開始
管理者に飯田市長松澤太郎氏就任
- 昭和48年 2月 「北分署」を飯田市上飯田361番地5に新設、業務開始
- 昭和48年 5月 「東分署」を飯田市座光寺3948番地2に新設、業務開始
- 昭和49年 5月 「竜峡分署」を飯田市龍江4531番地5に新設、業務開始
- 昭和49年 7月 北分署へ「救助隊を併設」
- 昭和50年 6月 西分署救急業務開始

- 昭和50年 8月 中央自動車道の開通に伴い隣接の関係町村と消防相互応援協定及び救急業務に関する覚書並びに恵那山トンネル相互応援協定を締結し、飯田インターチェンジを中心に高速道路に関する消防・救急業務開始
阿智村の救急業務を受託(昭和51年 2月10日)
- 昭和51年 5月 組織機構の一部を改正し、消防署へ通信指令室を設置
- 昭和51年11月 組織機構の一部を改正し、消防署を2方面隊(中央方面隊・南方面隊)設置
中央方面隊に救助係、査察係、南方面隊は査察係を設け2課1署9係1室5分署
- 昭和52年 1月 竜峡分署救急業務開始
- 昭和52年 3月 中央方面隊へ救助工作車を配置
- 昭和53年 4月 第2次組織機構改正を実施し、消防本部に警防課を設け、防災課を予防課に改正
各方面隊の隊長・副隊長を専任制とし、その他組織の強化
- 昭和54年 1月 南方面隊本署を飯田市松尾2700番地1に新築移転
- 昭和54年 7月 通信機械の整備に伴い通信指令室を3階へ移動増築
- 昭和54年 8月 東海地震に係る地震防災対策強化地域として飯田市・鼎町・上郷町を指定
- 昭和54年10月 各方面隊本署に救急係を設け、救急業務の強化
- 昭和55年 2月 救急無線複信化となる。
- 昭和55年 3月 北・西部地区7町村組合加入決定

4 広域消防編 「飯田地区広域消防組合」

- 昭和56年 4月 政令指定に伴い飯田市・鼎町・上郷町・松川町・高森町・清内路村・阿智村・喬木村・豊丘村・大鹿村の1市4町5村により「飯田地区広域消防組合」発足
北方面隊本署を高森町山吹竜口公民館に仮設(業務開始：4月1日)
- 昭和56年10月 北方面隊本署新築落成(高森町山吹5920番地1)
広域化に伴い消防用同報無線親局通信施設工事完成
- 昭和58年 9月 県下全域を襲った台風10号による集中豪雨により、当消防組合管内も甚大な被害
被害状況 被害総額：289億4,539万円 死者行方不明者：2人 負傷者：8人
家屋全壊：7戸 半壊：30戸
- 昭和59年12月 飯田市と鼎町との合併に伴い組合条例、規則改正
- 昭和60年 4月 組合組織機構を改正し、3方面隊制を3署制とする。
- 昭和61年 4月 政令指定に伴い下伊那南西部10町村(阿南町・浪合村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・上村・南信濃村)を含めた1市4町村14村により、
「飯田地区広域消防組合」発足
飯田消防本部、消防救急通信指令システム(Ⅱ型)設置工事完成
- 昭和61年10月 消防組合本部・飯田消防署庁舎新築落成(飯田市東栄町3345番地)
- 昭和62年 3月 阿南消防署消防救急指令装置等無線施設工事完成
阿南消防署・平谷分署・和田分署庁舎合同竣工式
- 昭和62年 4月 伊賀良分署を「伊賀良消防署」、松尾消防署を「松尾分署」とする。
阿南部会業務開始
- 昭和63年11月 管理者に飯田市長田中秀典氏を選任
- 昭和64年 1月 7日 昭和天皇崩御、8日 年号「平成」と制定
- 平成元年 1月
- 平成2年 1月 飯田消防署座光寺分署庁舎移転(飯田市座光寺5153番地4)

- 平成5年7月 飯田市と上郷町の合併に伴い組合条例及び規則を改正
- 平成6年1月 飯田消防署座光寺分署に救急自動車を配置し救急業務開始

5 複合組合編 「飯伊広域行政組合 飯田広域消防本部」

- 平成6年4月 事務の効率化を目指し、5一部事務組合と1協議会の統合・複合化が図られ、「飯伊広域行政組合」を設立し、消防本部を「飯田広域消防本部」とする。
- 平成6年4月 指令室を指令課に改め、高森消防署の管轄に座光寺分署を加え、予防・救急業務の充実強化を図り本部を4課8係、署を4署6分署29係体制
- 平成7年4月 消防署を4署6分署33係体制
- 平成8年2月 消防組織法に基づき消防相互応援を目的として県下18市町村長等による「長野県消防相互応援協定書」の調印(平成8年2月14日)
- 平成8年3月 消防無線基地局(第4装置)を消防本部指令課へ増設
建設省中部地方建設局飯田国道工事事務所により、地域防災監視施設が整備されたことに伴い、消防本部指令課へモニター設備が設置され運用開始
- 平成8年9月 伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署の両庁舎竣工
- 平成8年10月 伊賀良消防署、伊賀良消防署山本分署の新庁舎での業務開始
- 平成9年4月 中央自動車道、恵那山トンネル地区(日本道路公団、自主救急区域)の救急業務開始
消防署組織規程の一部を改正し、高森消防署に救急係を新設
- 平成9年12月 消防組織法に基づく消防相互応援協定を岐阜県恵南消防組合との間で締結
高森消防署増改築工事完了
- 平成10年2月 「第18回オリンピック冬期競技大会長野1998」開催に伴う支援として、職員5名を長野市消防局へ派遣(派遣期間2月5日～2月24日、県下13支援消防本部職員数40名)
- 平成10年3月 長野県防災行政連絡所として、長野県地域衛星通信ネットワーク整備事業が完成し3月17日から運用開始
消防本部消防緊急通信指令施設Ⅱ型設置工事完了
- 平成10年5月 消防緊急通信指令施設が正式稼働
- 平成10年8月 南信7消防本部の代表として、移動体通信119番受付転送業務を担当、施設を設置し業務開始
- 平成10年10月 消防組織法に基づく消防相互応援協定を愛知県あすけ地域消防組合との間で締結
- 平成10年12月 飯田消防署羽場分署庁舎移転(飯田市羽場町1丁目12番地4)
12月16日から業務開始

6 広域連合編 「南信州広域連合 飯田広域消防本部」

- 平成11年4月 「南信州広域連合」設立、
広域連合長に田中秀典飯田市長が就任
職員定数213名に対し、実員214名(飯田部会172名、阿南部会42名)
消防署組織規程の一部改正を行い伊賀良消防署へ救急係を新設
飯田消防署羽場分署 救急業務を開始
飯田地区防火管理者協議会及び飯田地区幼少年婦人防火委員会へ阿南部会加入
- 平成11年6月 梅雨前線の活発による集中豪雨で各地に被害
被害状況 河川溢水7件、床上浸水1件、床下浸水3件
家屋一部倒壊1件、避難世帯1件、土砂流出・崩落5件
- 平成11年7月 火薬類関係、委任事務開始

- 平成11年10月 長野県緊急消防援助隊合同訓練を、飯田市運動公園一帯を会場として実施
参加団体等：長野県消防防災航空隊・長野県15消防本部・飯田地区包括医療協議
会・長野県災害救助犬隊ほか
(ヘリコプター1機・消防車両50台・参加人員200人)
- 平成11年12月 飯田信用金庫から消防力拡充のため、2,000万円の寄附
- 平成12年1月 飯田消防署へ30m級はしご付消防自動車(4WS)1台を更新配置
国庫補助事業整備
- 平成12年2月 阿南消防署へ救急自動車(トヨタ アンビュランス 4WD 2B型)1台を更新配置
- 平成12年4月 危険物規制事務及び火薬類許可等の事務の自治事務化
消防職員定数条例改正：定数214名
(実員215名 飯田部会173名 阿南部会42名)
派遣：飯田市1名、大鹿村1名
阿南消防署に下伊那危険物安全協会事務が移管される。
広域連合構成市町村と災害対策本部の職員派遣に関する協定が締結され、各市町
村の防災会議に委員の一員として消防吏員が参加
- 平成12年7月 飯田消防署へ水難救助用ボート(一式)を新規配置
- 平成12年8月 和田分署及び平谷分署へ査察広報車を更新配置
阿南消防署、和田分署、平谷分署へ衛星携帯電話を新規配置
木曾広域消防本部との清内路トンネル内災害応援協力体制を基本とした「清内路
トンネル警防計画」を策定
- 平成12年9月 秋雨前線による集中豪雨のため、平谷村、根羽村、阿智村を中心に大きな被害
- 平成12年10月 伊賀良消防署龍江分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型)1台を更新配置
- 平成13年2月 消防本部へ査察広報車(日産 4WD)を更新配置
- 平成13年3月 阿南消防署へ資機材搬送車を新規配置
- 平成13年4月 職員定数 214名に対し、実員 216名(飯田部会 174名 阿南部会42名)
派遣：飯田市1名、大鹿村1名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊1名
- 平成13年10月 伊賀良消防署山本分署へ査察広報車(スズキスウィフト4WD)1台を配置
寄贈：(株)セイコーアドバンス
気象観測装置を阿南消防署へ更新配置
- 平成13年12月 高森消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(三菱 5000L B2型)1台を新規配置
阿南消防署連絡車庫増築 増築面積 103.56㎡
- 平成14年2月 高森消防署座光寺分署へ救急自動車(トヨタ アンビュランス4WD)1台を更新配置
寄贈：全国共済農業共同組合連合会長野本部
- 平成14年3月 阿南消防署へ査察広報車(トヨタプレミオ)新規配置
阿南消防署へ軽積載車(三菱660cc B3型)更新配置
総務省消防庁からB.C(生物・化学)テロ対策用資機材を貸与 飯田消防署へ配置
- 平成14年12月 伊賀良消防署へ消防ポンプ自動車(三菱/日本ドライケミカル4WD CD-1型)1台を更新配置
阿南消防署へ消防ポンプ自動車(三菱/モリタ 4WD CD-I型)1台を更新配置
阿南消防署和田分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型)1台を更新配置

- 平成15年4月 職員定数214名に対し、実員216名
派遣：飯田市1名、大鹿村1名、長野県危機管理消防防災課消防防災航空隊1名、長野県消防学校1名
消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施
警防課と指令課を統合し警防課、警防課に指令3係と情報管理専門主査を配置
伊賀良消防署、高森消防署の救急係を2係体制
- 平成15年5月 第1回飯伊地区メディカルコントロール分科会で飯伊包括医療協議会事務局、検証医10名(輪番病院医師)によるC P Aに対しての事後検証会を毎月第2木曜日に実施することに決定
- 平成15年6月 龍江分署庁舎建築用地買収完了
地権者：1名 買収面積(農地)：756㎡ 価格：12,593,448円
- 平成15年7月 消防本部警防課に査察広報車(トヨタ[®]ポボックス 4WD)1台を更新配置
- 平成15年8月 第1回事後検証会議を、8月21日に、検証医9名、救急隊員27名及び事務局4名にてC P A14症例について検討を飯田医師会館で実施
- 平成15年8月 龍江分署用地として、塩澤方子氏より宅地・雑種地92㎡の寄附
- 平成15年11月 阿南消防署平谷分署へ消防ポンプ自動車(三菱/モリタ CD-I型)1台を更新配置
- 平成16年1月 飯田線鉄道災害救急救助安全連絡地域分科会設置会議を飯田消防本部にて開催
- 平成16年2月 阿南消防署平谷分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型)1台を更新配置
- 平成16年3月 龍江分署新築用地平成15年度分造成工事(県道自営・飯田市自営工事一部)完了
山本分署へ救急自動車(トヨタアンビュランス 4WD 2B型)1台を更新配置
寄贈：全国農業協同組合連合会長野県本部
- 平成16年4月 職員定数214名に対して実員216名
派遣：飯田市1名、大鹿村1名、長野県消防学校1名
- 平成16年8月 伊賀良消防署龍江分署庁舎新築工事入札
- 平成16年9月 阿南消防署へ除細動器1台を新規配置
- 平成16年10月 阿南消防署和田分署へ消防ポンプ自動車(日野/モリタ CD-I型)1台を更新配置
- 平成16年11月 広域連合長に飯田市長牧野光朗氏就任
- 平成16年12月 飯田信用金庫から消防車両整備に2,200万円の寄附金と査察広報車1台(トヨタ[®]プリウス)の寄贈を受け、寄附金による車両整備は、17年度に行う。
査察広報車は、消防本部へ更新配置
- 平成17年3月 阿南部会の消防無線システム改修工事完了
伊賀良消防署龍江分署庁舎の落成式を挙行
面積：455.42㎡ 総工事費：138,615,000円
- 平成17年4月 職員定数214名に対し、実員216名
派遣：飯田市1名、大鹿村1名、長野県危機管理室1名
- 平成17年10月 上村、南信濃村が飯田市に編入合併し、構成市町村が1市3町12村となる。
佐久総合病院に常駐するドクターヘリが、飯田下伊那地域での運行を開始
- 平成18年1月 浪合村が阿智村に編入合併し、構成市町村が1市3町11村となる。
高森消防署座光寺分署へ消防ポンプ自動車(三菱/モリタ CD-I型)1台を更新配置
- 平成18年2月 飯田消防署へ救助工作車II型(日野/ 帝国繊維)1台を更新配置

- 平成18年 4月 飯田部会、阿南部会を一体化し業務運用を開始
消防職員定数条例改正：定数217名 実員218名 派遣：飯田市1名、大鹿村1名
消防本部組織規則の一部を改正し、警防課指令係を3係3部体制
飯田地区危険物安全協会と下伊那危険物安全協会が合併して、南信州危険物安全協会が設立
- 平成18年 9月 予防課へ査察広報車1台(スズキリオ4WD)配置 寄贈：(株)セイコーアドバンス
- 平成19年 1月 消防本部指令台の阿南関係 119番受付改修工事が完了し運用開始
(飯田下伊那全域の 119番受付集約)
飯田消防署へ高規格救急自動車(トヨタハイメック)1台を更新配置
- 平成19年 3月 阿南消防署へ救助工作車(いすゞ/リタ)1台を更新配置
- 平成19年 4月 消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部改正し、組織機構の見直し実施
- 平成20年 3月 高森消防署へ高規格救急自動車(トヨタハイメック)1台を更新配置
阿南消防署庁舎の増改築工事完了
- 平成20年12月 飯田消防署から伊賀良消防署へ15m級梯子付消防ポンプ自動車を配置換え
- 平成21年 3月 平谷分署、和田分署の車庫に救急処置室の増設
清内路村と阿智村が合併したことにより、構成市町村が1市3町10村となる。
阿南消防署へ水難救助用ボート一式配置 寄贈：アルプスマリーナ
飯田消防署へ水難救助用ボート一式配置
- 平成21年 5月 飯田消防署、伊賀良消防署へ指令車(日産バネット)1台を更新配置
- 平成21年 6月 阿南消防署へ和田分署から阿南95号車を配置換えし指令車として配置
飯田消防署へ平谷分署から阿南85号車を配置換えし資機材搬送車として配置
- 平成21年10月 高森消防署、龍江分署へ消防ポンプ自動車(トヨタ/日本ドラッグメカ 600Lタンク付 CD-I型)各1台を更新配置
山本分署へ消防ポンプ自動車(トヨタ/リタ CAFS装置付 CD-I型)1台を更新配置
- 平成21年12月 飯田消防署へ救急普及啓発広報車(日産シリアン)を新規配置
寄贈：財団法人救急振興財団
- 平成22年 1月 阿南消防署へ配置泰阜村から積載車(トヨタ ヴァイ)の譲渡を受ける。
- 平成22年 6月 飯田消防署へ査察広報車(スズキエブリイ4WD)1台を配置
寄贈：(株)セイコーアドバンス
- 平成23年 1月 阿南消防署へ高規格救急車(日産 パラメック)1台を更新配置
寄贈：社団法人日本損害保険協会
- 平成23年 3月 伊賀良消防署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック)1台を更新配置
空気充填庫のコンプレッサー(移動式)を更新
- 平成23年 8月 羽場分署に高規格救急自動車(トヨタ ハイメック)1台を更新配置
寄贈：全国共済農業協同組合連合会長野県本部
- 平成24年 8月 国の補助金を活用し、消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事着工
2箇年で整備を行う。
- 平成24年10月 飯田地区防火管理者協議会創立50周年記念式典を挙行、煙体験ハウス及びスモークマシンが寄贈される。
- 平成25年 3月 消防救急デジタル無線共通波整備完了
車載無線60台、デジタル携帯無線54台を装備
- 平成25年12月 消防救急デジタル無線施設及び指令施設工事完了し、試験運用開始

- 平成26年2月 警防課へIV型支援車（日産 キャラバン）1台を新規配置
総務省消防庁から緊急消防援助隊支援資機材・可搬型衛星地球局（V S A T）の貸与を受け、IV型支援車に車載し運用開始
- 平成26年3月 消防救急デジタル無線及び指令施設の正式運用開始
- 平成26年5月 N T P ヴィークルグループ株式会社から電気自動車「トヨタコムス」の寄贈を受ける。
- 平成26年8月 (株)セイコーアドバンスから査察広報車(スズキブリ4WD) 1台の寄贈を受ける。
- 平成27年3月 飯田消防署へ消防ポンプ自動車(日野/モタ CAFS装置付CD-I型) 1台を更新配置
羽場分署へ消防ポンプ自動車(日野/モタ CAFS装置付CD-I型) 各1台を更新配置
- 平成27年9月 飯田信用金庫から化学車(日野/モタ CAFS装置付) 1台の寄贈を受け、飯田消防署へ更新配置する。(9月18日運用開始)
- 平成28年2月 高森消防署座光寺分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
阿南消防署平谷分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
- 平成28年3月 救命サポート隊の試行運用
阿智村清内路地区における救命サポート隊試行運用を開始する。
清内路振興室職員3名を隊員登録する。
- 平成28年3月 14市町村への無線波を使用した火災放送システムを有線(光回線)による放送システムに改修する。施工業者：サスナカ通信工業株式会社
- 平成28年7月 恵那山トンネル無線補助設備のデジタル化に伴い、有線遠隔方式からデジタル無線(活動波4)遠隔方式に変更し運用を開始する。
- 平成29年2月 高森消防署へ指揮車(トヨタ レジアエース) 1台を更新配置
伊賀良消防署山本分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
阿南消防署和田分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
- 平成29年11月 長野県消防相互援助隊合同訓練
第1ステージ(受援訓練)飯田広域消防本部3階大会議室(参加者：50名)
第2ステージ(部隊運用訓練)飯田市川路多目的広場他を会場として実施参加団体等：長野県消防防災航空隊・長野県13消防(局)本部・飯田地区包括医療協議会他参加隊及び参加人員：飯田広域消防93名・県内12消防本部39隊135名・ヘリコプター5機・関係機関及び他飯田市住民等約3,000名
- 平成29年12月 飯田広域消防本部庁舎屋根及び壁改修工事完了。 施工業者：勝間田建設
- 平成30年2月 伊賀良消防署龍江分署へ高規格救急自動車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
- 平成30年3月 阿南消防署平谷分署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1台を配置
- 平成30年9月 (株)セイコーアドバンスから高規格救急車(トヨタ ハイメック) 1台及び無人航空機(ドローン)(DJI ファントム4 pro+V2.0) 1機の寄贈を受ける。
高規格救急車を飯田消防署へ更新配置(9月13日運用開始)
無人航空機(ドローン)を警防課へ配置(9月10日運用開始)
- 平成30年12月 総務課へ人員搬送車(トヨタ ハイース) 1台を更新配置
- 平成31年3月 伊賀良消防署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1台を更新配置
高森消防署へ高規格救急車(トヨタ ハイメック) 1台を更新配置
警防課へ多機能搬送車(トヨタ ハイースワゴン) 1台を更新配置

- 令和元年6月 (株)セイコーアドバンスから無人航空機(ドローン)(DJI マビック2エンタープライズデュアル) 1機の寄贈を受け、阿南消防署へ配置(7月23日運用開始)
- 令和元年9月 飯田消防署へ警防課の無人航空機(ドローン)(DJI フェントム4 pro+V2.0) 1機を配置
警防課へ無人航空機(ドローン)(DJI マビック2エンタープライズデュアル) 1機を配置
- 令和2年3月 飯田保健所管内で初めて新型コロナウイルス感染者を確認(県内5例目)
飯田広域消防本部業務継続計画(新型コロナウイルス感染症対応)を策定し対応する。
阿南消防署へ消防ポンプ自動車(日野/モリタ CAFS装置付CD-I型) 1台を更新配置
- 令和2年5月 阿南消防署へ指揮車(日産 キャラバン) 1台を更新配置
- 令和2年12月 飯田消防署へ査察広報車(トヨタ プロボックス) 1台を更新配置
- 令和3年5月 伊賀良消防署の15mはしご付消防自動車の更新にあたり、13mブーム付多目的消防自動車(日野/モリタ) 1台を配置(5月19日運用開始)
(株)セイコーアドバンスから無人航空機(ドローン)(DJI マビック2エンタープライズデュアル) 1機の寄贈を受け、高森消防署へ配置(6月1日運用開始)

火災史

飯田下伊那地区は古くから大火が多く、記録に残る大火のみでも、慶長元年（1596）以来400余年間で、100回に達している。

過去の記録中、大火と称せられるもの又は特異な火災は、次のとおりである。

- | | |
|-------------------|--|
| 文政6年(1823)12月23日 | 世にいう「床屋火事」は、箕瀬町の床屋から出火し、延焼13町、全焼1,127軒、空前の大火となった。 |
| 天保2年(1831)1月13日 | 箕瀬町の住宅から出火し、105軒が焼失する。 |
| 明治6年(1873)7月25日 | 大横町の住宅から出火し、95軒が焼失する。 |
| 明治7年(1874)5月31日 | 知久町の住宅から出火し、50軒が焼失する。 |
| 明治26年(1893)8月6日 | 追手町の住宅から出火し、125軒が焼失する。 |
| 明治27年(1894)6月10日 | 池田町の住宅から出火し、161軒が焼失する。 |
| 大正7年(1918)5月30日 | 下馬場町の遊郭から出火し、45軒が焼失する。 |
| 大正8年(1919)10月15日 | 桜町2丁目大火、焼失50軒 |
| 大正11年(1922)5月4日 | 愛宕坂の住宅から出火し、折からの強風にあおられ愛宕町、常盤町、知久町1丁目、本町1丁目、追手町2・3丁目の約5万坪、358戸を焼失する。 |
| 昭和21年(1946)7月15日 | 元町の住宅から出火した火災は、4m/分の西風にあおられ、湿度39%の乾燥に乗じ元町、栄町、日の出町、浅間町、清水町の15,000坪、193戸を焼失する。り災者：850名 |
| 昭和22年(1947)4月20日 | 午前11時48分頃、上常盤の住宅から出火し、出火時の気象は、南の風風速5.5m/分、湿度33%であったが、火災が拡大するにつれて次第に強風(午後2～3時頃には11～13m/分)となった。
発生当時の火は、火元のすぐ北側に当たる八十二銀行飯田支店(鉄筋コンクリート造3階建)に北進を阻まれ、火勢は二手に別れ、火元から50mに位置する銀座通り映画館(大松座)に延焼するところから大火の様相を示し、常盤町、追手町方面と銀座通り、知久町、本町、松尾町方面に延び、南より北に向かって高くなる地勢のため市内北部方面においては地上をはって北進するので、延焼に至らぬ間に煙のため東西方面に避難せざるを得ない実態となり、まったくの大火と化した。
り災区域：51町(り災を免れたもの47町)
焼失戸数：3,577戸(4,010世帯)、り災人員：17,778人
焼失面積：22万坪、延焼時間：約10時間 |
| 昭和34年(1959)5月29日 | 午後2時26分頃、上郷村別府の煙火工場で爆発事故が発生
死者：7名 重傷者：7名 軽傷者：83名
家屋の全壊：14戸 半壊：74戸 軽損：1,959戸 被災人員：9,276人 |
| 昭和45年(1970)4月13日 | 午後6時30分頃、飯田市上飯田大平地区の中心地にあった精密工場から出火する。全焼：7棟 焼失面積：952㎡
この火災をきっかけにして大平地区の集団移住が行われた。 |
| 昭和46年(1971)5月13日 | 午前1時40分頃、飯田市毛賀の工場から出火
工場1棟半焼 焼失面積：1,600㎡ |
| 昭和49年(1974)10月17日 | 午前1時55分頃、飯田市高田町の飯田市立飯田東中学校から出火
全焼：5棟(第4校舎木造2階建他)
半焼：1棟(第3校舎木造2階建)
焼失面積：2,758㎡ |

- 昭和59年(1984) 5月12日 午前10時50分頃、豊丘村神稲の下烏帽子山から鬼面山にかけて延焼が3日間にわたる林野火災が発生し、13日の午後から14日には、自衛隊のヘリコプター2機による空中消火作業を行い5月14日午前10時40分の47時間ぶりに鎮火した。焼失面積：43ha
- 平成7年(1995) 8月8日 午後0時46分頃、阿南町和合鈴ヶ沢の官行造林地から出火して延焼、鈴ヶ沢地籍で2日間にわたる林野火災が発生し、9日の午前から自衛隊のヘリコプター5機による空中消火作業を行い午後4時05分に鎮火した。焼損面積：20ha
- 平成8年(1996) 2月29日 午前7時頃、飯田市追手町1丁目、通称「柳小路」の飲食店から出火、裏側銀座4丁目商店街へも延焼、全焼8棟など12棟が焼損して3時間後に鎮火した。焼損面積：1,427㎡ り災者：26名
- 平成11年(1999) 10月3日 午前7時15分頃、根羽村で危険物移送中の交通事故により発生した火災(移動タンク貯蔵所の爆発火災事故)は、タンクローリーがガソリン20キロリットルを積載して国道を走行中に横転炎上し、周囲の山林等に延焼、約2時間後に鎮火した。
- 平成12年(2000) 1月11日(金)～1月20日(日)までの10日間
飯田広域消防初の「焼死火災多発非常事態宣言」を発令し、警戒に努める。平成12年1月1日の焼死火災から短期間に焼死火災が続いたものに対応したもので、この年過去最悪の9名の焼死者が発生するという異常事態となった。
- 平成12年(2000) 10月27日 午前2時頃、飯田市馬場町3丁目の住宅から出火し、急斜地に軒を連ねる建物に延焼、全焼5棟など8棟焼損し約2時間後に鎮火した。
焼損面積：854㎡ り災者：7名
飯田市大火での延焼を免れた古い木造建物が立ち並び、狭隘な道路と空き家が多い延焼拡大危険地域で発生した特異な火災である。
- 平成18年(2006) 5月31日 午後5時44分頃、阿智村智里大野地籍で危険物移送中の交通事故により発生した火災(移動タンク貯蔵所の爆発火災事故)は、タンクローリーが軽油20キロリットルを積載して国道を走行中に横転、転落炎上し、周囲の山林等に延焼、約1時間後に鎮火した。死者：1名
- 平成29年(2017) 5月5日 午後4時26分、飯田市南信濃南和田地籍(通称：戸倉山東側尾根)から林野火災が発生、4日間にわたって燃え続け、5月9日午後1時30分に鎮火した。
この火災に対して、5都県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ194回、散水量589,100ℓにおよぶ空中消火を実施。また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施
焼損面積：238a
- 平成30年(2018) 4月2日 午前11時31分、飯田市千代で林野火災が発生、住宅裏から出火し建物及び林野(通称：野池山西側尾根)に延焼拡大、4月3日午後0時08分に鎮火した。
この火災に対して、3県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ105回、散水量118,000ℓにおよぶ空中消火を実施、また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施
焼損面積：455a
- 平成31年(2019) 4月6日 午前10時09分、喬木村氏乗で林野火災が発生、4月7日午前9時30分に鎮火した。
この火災に対して、岐阜県の消防防災ヘリと陸上自衛隊ヘリを要請し、延べ65回、散水量355,400ℓにおよぶ空中消火を実施、また、地上部隊(消防署及び消防団)は「背負い式消火水のう」による消火活動を実施
焼損面積：586a

飯田広域消防管内地勢

南信州地域は、飯田市と下伊那郡から成り、長野県の最南端に位置し、静岡県、愛知県、岐阜県と接し、西を中央アルプス、東を南アルプスに囲まれ、中央部を天竜川が北から南へ流れ河岸段丘が形成された、雄大な自然に恵まれた地域です。

交通網は、中央自動車道やJR飯田線が南北に縦走、三遠南信自動車道の整備も進んでいます。2027年以降にはリニア中央新幹線の開通が予定され、今後は、人々や物の交流が活発になると予想されています。



署所等の所在地

名 称	所 在 地	電話番号	FAX 番号	郵便番号
消 防 本 部	飯田市東栄町3345番地	0265-23-0119	0265-23-6007	395-8533
飯 田 消 防 署	飯田市東栄町3345番地	0265-22-0119	0265-22-0119	395-8533
羽 場 分 署	飯田市羽場町1丁目12番地4	0265-52-0119	0265-52-0119	395-0063
伊賀良消防署	飯田市上殿岡721番地2	0265-25-0119	0265-25-0119	395-0153
山 本 分 署	飯田市山本5340番地1	0265-25-1195	0265-25-1195	395-0244
龍 江 分 署	飯田市龍江4531番地5	0265-27-4911	0265-27-4911	399-2221
高森消防署	下伊那郡高森町山吹5920番地1	0265-35-0119	0265-35-0119	399-3101
座光寺分署	飯田市座光寺5153番地4	0265-53-0119	0265-53-0119	395-0001
阿南消防署	下伊那郡阿南町西條417番地15	0260-22-3344	0260-22-3308	399-1504
平 谷 分 署	下伊那郡平谷村433番地1	0265-48-2011	0265-48-2012	395-0601
和 田 分 署	飯田市南信濃八重河内121番地	0260-34-5588	0260-34-5589	399-1312

飯田広域消防本部ホームページ URL <https://119.minami.nagano.jp>

関係市町村別 面積・人口・世帯数

(令和3年4月1日現在)

区分 市町村	郵便番号	役所(場)所在地	電話番号	面積 (km ²)	人 口 (人)	世帯数 (戸)
			FAX 番号			
飯田市	395-8501	飯田市大久保町2534番地	0265-22-4511	658.66	98,921	40,064
			0265-24-4511			
松川町	399-3303	松川町元大島3823番地	0265-36-3111	72.79	12,910	4,726
			0265-36-5091			
高森町	399-3193	高森町下市田2183番地1	0265-35-3111	45.36	12,949	4,516
			0265-35-8294			
阿南町	399-1511	阿南町東條58番地1	0260-22-2141	123.07	4,386	2,005
			0260-22-2576			
阿智村	395-0303	阿智村駒場483番地	0265-43-2220	214.43	6,157	2,353
			0265-43-3940			
平谷村	395-0601	平谷村354番地	0265-48-2211	77.37	403	200
			0265-48-2212			
根羽村	395-0701	根羽村2131番地1	0265-49-2111	89.97	882	410
			0265-49-2277			
下條村	399-2101	下條村睦沢8801番地1	0260-27-2311	38.12	3,649	1,290
			0260-27-3536			
売木村	399-1689	売木村968番地1	0260-28-2311	43.43	508	257
			0260-28-2135			
天龍村	399-1201	天龍村平岡878番地	0260-32-2001	109.44	1,192	669
			0260-32-2525			
泰阜村	399-1895	泰阜村3236番地1	0260-26-2111	64.59	1,553	667
			0260-26-2553			
喬木村	395-1107	喬木村6664番地	0265-33-2001	66.61	6,173	2,131
			0265-33-3679			
豊丘村	399-3295	豊丘村大字神稲3120番地	0265-35-3311	76.79	6,709	2,206
			0265-35-9065			
大鹿村	399-3502	大鹿村大河原354番地	0265-39-2001	248.28	963	477
			0265-39-2269			
合 計				1,928.91	157,355	61,971

(備考) 1 「令和3年度消防現勢等調査」により作成

2 人口及び世帯数は、外国人登録者を含めた数値です。

消防庁舎等概要

消防本部 飯田消防署

位 置 飯田市東栄町3345番地
敷地面積 4,760.57㎡
建築延面積 3,110.86㎡
構 造 鉄筋コンクリート造3階建
竣工年月日 昭和61年9月20日



飯田消防署 羽場分署

位 置 飯田市羽場町1丁目12番地4
敷地面積 1,313.11㎡
建築延面積 383.58㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成10年12月17日



伊賀良消防署

位 置 飯田市上殿岡721番地2
敷地面積 2,081.05㎡
建築延面積 640.44㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成8年9月21日



伊賀良消防署 山本分署

位 置 飯田市山本5340番地1
敷地面積 1,260.12㎡
建築延面積 350.00㎡
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 平成8年9月21日



伊賀良消防署 龍江分署

位 置 飯田市龍江4531番地5
敷地面積 1,316.06㎡
建築延面積 455.42㎡
構 造 木造一部鉄骨2階建
竣工年月日 平成17年3月25日



高森消防署

位 置 下伊那郡高森町山吹5920番地1
敷地面積 1,850.29m²
建築延面積 585.27m²
構 造 鉄骨造モルタル平屋建
竣工年月日 昭和56年10月27日



高森消防署 座光寺分署

位 置 飯田市座光寺5153番地4
敷地面積 1,133.74m²
建築延面積 298.87m²
構 造 木造モルタル平屋建
竣工年月日 平成2年1月26日



阿南消防署

位 置 下伊那郡阿南町西條417番地15
敷地面積 2,001.00m²
建築延面積 603.23m²
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 昭和61年12月10日



阿南消防署 平谷分署

位 置 下伊那郡平谷村433番地1
敷地面積 780.71m²
建築延面積 294.96m²
構 造 木造一部鉄骨平屋建
竣工年月日 昭和62年1月25日



阿南消防署 和田分署

位 置 飯田市南信濃八重河内121番地
敷地面積 857.47m²
建築延面積 291.72m²
構 造 鉄骨造平屋建
竣工年月日 昭和62年1月25日



総務



令和3年 仕事始め式（通常点検）

南信州広域連合理事者等

(令和3年4月1日現在)

広域連合長

佐藤 健 (飯田市長)

副広域連合長

下平 喜隆 (豊丘村長)

副管理者

高田 修 (飯田市副市長)

関係町村長

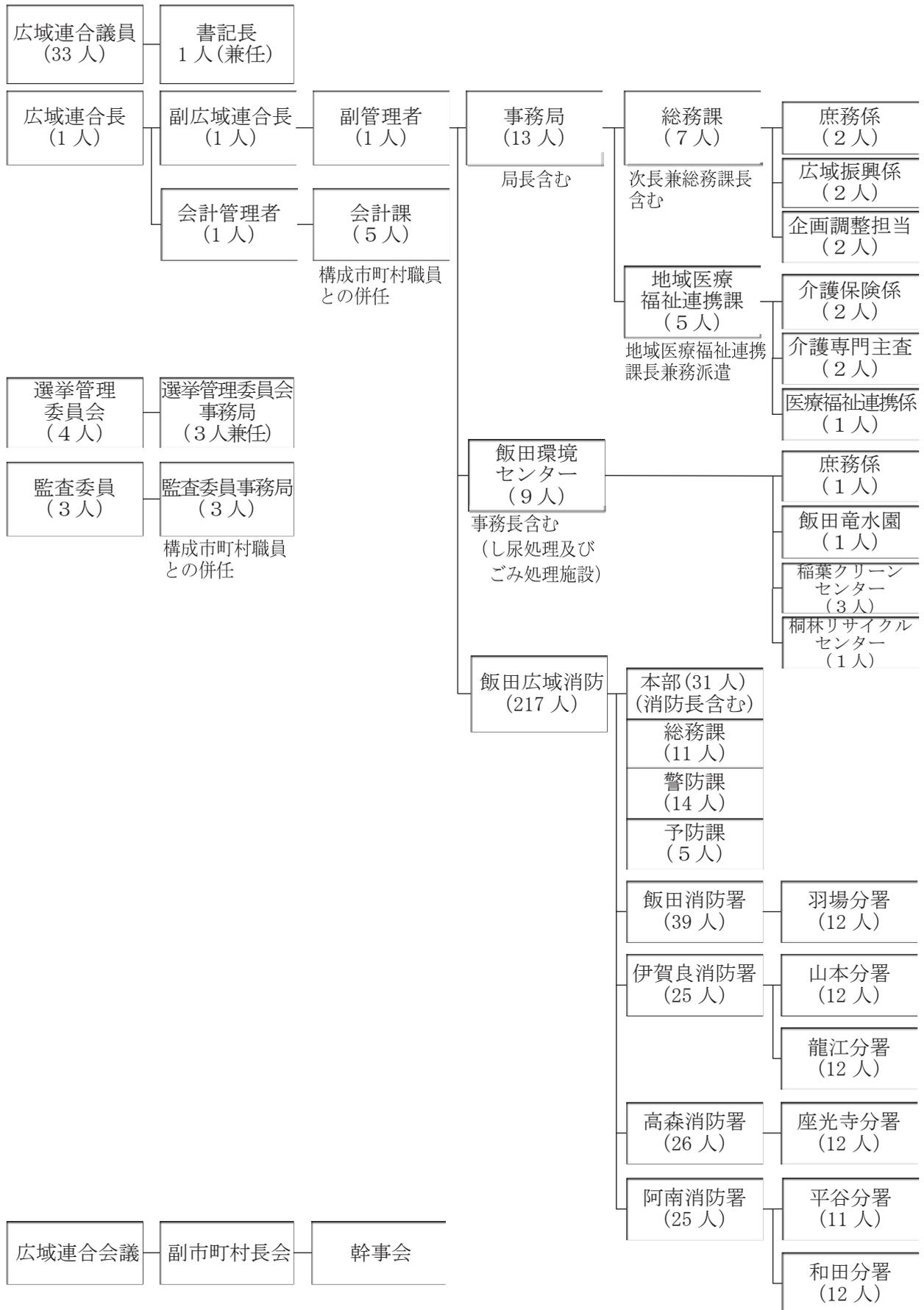
宮下 智博 (松川町長)	壬生 照玄 (高森町長)	勝野 一成 (阿南町長)	熊谷 秀樹 (阿智村長)
西川 清海 (平谷村長)	大久保 憲一 (根羽村長)	金田 憲治 (下條村長)	清水 秀樹 (売木村長)
永嶺 誠一 (天龍村長)	横前 明 (泰阜村長)	市瀬 直史 (喬木村長)	熊谷 英俊 (大鹿村長)

歴代消防長

氏名	在任期間	氏名	在任期間
福沢 福男	昭和23年3月7日 昭和26年3月31日	牧島 忠司	平成9年4月1日 平成12年3月31日
山口 又蔵	昭和26年4月4日 昭和44年3月31日	中平 勝	平成12年4月1日 平成14年3月31日
松島 章男	昭和44年10月20日 昭和48年7月14日	鈴木 邦幸	平成14年4月1日 平成16年3月31日
村沢 光男	昭和48年7月15日 昭和51年3月31日	林田 弘	平成16年4月1日 平成18年3月31日
久保 武敏	昭和51年4月1日 昭和52年2月11日	長沼 弘明	平成18年4月1日 平成19年3月31日
宮内 省治	昭和52年2月12日 昭和52年3月31日	今牧 英明	平成19年4月1日 平成22年3月31日
三石 亮	昭和52年4月1日 昭和58年3月31日	澤柳 陽一	平成22年4月1日 平成24年3月31日
相津 実	昭和58年4月1日 昭和59年11月30日	山田 耕三	平成24年4月1日 平成26年3月31日
高木 尚	昭和59年12月1日 昭和61年3月31日	桂 稔	平成26年4月1日 平成28年3月31日
栗林 喜代司	昭和61年4月1日 平成1年3月31日	関島 弘文	平成28年4月1日 平成31年3月31日
宮澤 英夫	平成1年4月1日 平成4年3月31日	赤羽目 金利	平成31年4月1日 令和3年3月31日
吉河 省治	平成4年4月1日 平成6年3月31日	有賀 達広	令和3年4月1日
蜂谷 伸	平成6年4月1日 平成9年3月31日		

南信州広域連合組織機構図

(令和3年4月1日現在)



飯田広域消防本部組織機構と職員配置

(令和3年4月1日現在) (人)

区分	階級			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
	課長	補佐	係長										
消防本部	消防課	課長	1									1	
	総務課	課長	補佐			1							1
		庶務	職員				(1)						(1)
		派遣	職員				1	1				5	7
		次長(課長)	幹佐		1					1			1
	警防課	専門	係長			1							1
		企画	係長				(3)						(3)
		情報	係長				1			1			2
		指令	係長				1			2			3
		指令	係長				1	1		1			3
	予防課	課長	補佐			1							1
		予防	係長						1	1			2
		危険物	係長						2				2
	本部計				1	1	3	6	6	9		5	31
	消防署	飯田消防署	次長(署長)	幹佐		1							1
署長			補佐				(2)					(2)	
消防			係長				1		2	1	2	6	
消防			係長				1	1		2	2	6	
救急			係長				1	1	1			3	
救急			係長					2	1			3	
救助			係長					2	3	2		7	
救助			係長					2	2	3		7	
予防		係長					4	2			6		
羽場		係長				1	3		1	1	6		
分署		係長					3		1	1	6		
小計		計			1	4	18	12	10	6	51		
伊賀良消防署		署長	補佐			1							1
		消防	係長				(2)						(2)
		消防	係長					2		1	3	6	
	救急	係長					2	1	1	2	6		
	救急	係長					2			1	3		
	予防	係長				1	3	1	1	1	6		
	山本	係長					1	3		2	6		
分署	係長					1	1	1	2	6			
龍江	係長					1	1		3	6			
小計	計			1	4	13	9	6	16	49			
高森消防署	署長	補佐			1							1	
	消防	係長				(2)						(2)	
	消防	係長					1	1	1	2	6		
	救急	係長					1	1		3	6		
	救急	係長					1	2			3		
	予防	係長					1	2		1	3		
	予防	係長					3	3	1		7		
	光寺	係長					1	1		3	6		
分署	係長					1	2		2	6			
小計	計			1	4	10	11	2	10	38			
阿南消防署	署長	補佐			1							1	
	消防	係長				(2)						(2)	
	消防	係長					1	2	1	2	6		
	救急	係長					1	3	1	2	6		
	救急	係長					1	2			3		
	予防	係長					1	1		1	3		
	予防	係長					2	2	1	1	6		
	平分	係長					3	1	1	1	6		
分署	係長					1	2		1	5			
和田	係長					1	1		3	6			
小計	計			1	8	18	9	4	8	48			
署合計	計			1	2	3	20	59	41	22	40	186	
総計	計			1	2	6	26	65	50	22	45	217	

(備考) ()数字は、課長補佐又は署長補佐を再計する。

職員階級別年齢

(令和3年4月1日現在) (人)

階級 年齢	うち 女性	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		20歳未満	1							
20歳以上25歳未満	1							1	27	28
25歳以上30歳未満	1						7	16	13	36
30歳以上35歳未満							25	5		30
35歳以上40歳未満	1					2	16			18
40歳以上45歳未満						14	2			16
45歳以上50歳未満						24				24
50歳以上55歳未満					11	11				22
55歳以上		1	2	6	15	14				38
合計	4	1	2	6	26	65	50	22	45	217
平均年齢	25.5	58.0	58.5	57.0	55.1	48.5	33.4	27.6	22.9	38.8

職員階級別勤続年数

(令和3年4月1日現在) (人)

階級 勤続年数	うち 女性	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		5年未満	2			1				5
5年以上10年未満	1						8	15	14	37
10年以上15年未満	1						28	2		30
15年以上20年未満						2	14			16
20年以上25年未満						17				17
25年以上30年未満					3	22				25
30年以上		1	2	5	23	24				55
合計	4	1	2	6	26	65	50	22	45	217
平均勤続年数	5.0	40.0	40.0	32.3	34.5	28.3	13.0	6.2	3.0	18.3

消防予算

(1) 消防予算の推移(当初予算)

(単位:千円)

目		年度				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般管理費		1,944,086	2,004,053	1,864,022	1,968,386	1,895,711
常備消防費		47,805	51,821	56,215	59,318	65,475
消防施設費		37,276	57,988	77,399	108,332	54,150
公債費		115,433	114,498	113,564	114,064	114,064
予備費		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
合計		2,148,600	2,232,360	2,115,200	2,254,100	2,133,400
消防予算に対する割合	一人当たり	13,212円	13,731円	13,142円	14,162円	13,558円
	1世帯当たり	35,182円	36,224円	34,242円	36,425円	34,426円

(2) 令和3年度広域連合関係市町村消防費の内訳

(単位:千円)

市町村	内訳	消 防 費				一般会計 総予算	総予算に対する割合(%)
		常備消防費	非常備消防費	その他	計		
飯田市		1,002,586	201,922	326,280	1,530,788	47,470,000	3.2
松川町		170,974	76,947	49,185	297,106	6,430,000	4.6
高森町		168,167	47,737	27,154	243,058	7,050,000	3.4
阿南町		92,983	28,380	125,879	247,242	3,967,000	6.2
阿智村		126,127	67,055	62,878	256,060	5,285,000	4.8
平谷村		14,239	7,309	10,007	31,555	952,000	3.3
根羽村		23,655	11,814	1,756	37,225	1,691,000	2.2
下條村		71,624	32,102	184	103,910	2,590,000	4.0
売木村		14,625	11,905	55	26,585	1,079,175	2.5
天龍村		32,564	10,190	2,686	45,440	2,040,000	2.2
泰阜村		36,092	16,647	10,685	63,424	2,077,000	3.1
喬木村		99,292	28,806	19,593	147,691	4,570,000	3.2
豊丘村		104,322	73,112	10,273	187,707	4,653,000	4.0
大鹿村		34,702	21,400	13,221	69,323	2,398,000	2.9
合計		1,991,952	635,326	659,836	3,287,114	92,252,175	3.6

(備考) 「令和3年度消防現勢等調査」により作成

予 防

令和2年度に募集した防火標語の入賞作品（6点）

（敬称略・優秀賞順不同）

最優秀賞

さいごまで せきにんもって 火のしまつ

和合小学校 4年 大羽 希実

優 秀 賞

たばこの火 ちゃんと消さなきゃ 火事の元
火のようじん 子どもがコンロで あそばない
気をつけて ストープの上は 危険地帯
水じゅんび 確認してから たき火しよう
火遊びで だれかの命が 消えるかも

根羽学園 4年 佐藤 凛聖
阿智第二小学校 2年 古川 陽基
和合小学校 4年 有富 開士
平谷小学校 6年 米村 謙一
平谷小学校 6年 加藤 雄志



令和3年 春の火災予防運動 啓発駅伝

防火対象物の現況

用途区分			市町村別対象物数		飯田市		松川町		高森町		阿南町		阿智村		平谷村	
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種		
1	イ	劇場・映画館等	4						1							
	ロ	公会堂・集会場	94	100	14	17	18	24	5	2	10	4				1
2	イ	キャバレー等		2												
	ロ	遊技場／ダンスホール	19	1	1		2	1								
	ハ	風俗営業等														
	ニ	カラオケボックス等	4													
3	イ	待合・料理店	11	2	1		1									
	ロ	飲食店	44	122	5	11	6	12	1		9	11				2
4		百貨店・マーケット	145	99	13	12	9	12	4	3	5	6				1
5	イ	旅館・ホテル	56	18	5		4		3	2	34	5	2	1		
	ロ	共同住宅・下宿等	186	635	9	28	10	45	5	13	2	18	1	2		
6	イ	病院・診療所等	40	41	1	1	3	5	2	1	1	1				
	ロ	老人福祉施設等	38		8	1	7		9		6					
	ハ	デイサービス等	74	51	14	17	9	1	6	5	9	3	2			
	ニ	幼稚園・盲学校等	4													
7		小・中・高等学校等	40		4		4	5	7		7			1		
8		図書館等	5	8				1		2	1	1	2			1
9	イ	蒸気・熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	1							1					
10		車両の停車場	1	2												
11		神社・寺院等	41	45	3	10	6	8	1	3	1	5				
12	イ	工場・作業場	364	346	59	60	54	84	10	16	19	25	1	1		
	ロ	映画スタジオ等														
13	イ	自動車車庫・駐車場	10	10		1		1				1				
	ロ	飛行機格納庫														
14		倉庫	123	155	10	26	14	20		6	1	6				1
15		前各号に該当しない事業所	216	375	20	30	18	33	7	27	14	24	2	13		
16	イ	複合用途防火対象物	352	325	32	35	16	27	14	2	26	12	7	3		
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	99	344	9	36	3	26	4	1	6	5	1	1		
17		重要文化財等	15	2			2			1	2					
18		延長50m以上のアーケード														
合 計			1,988	2,684	208	285	188	304	80	83	154	128	17	27		

(令和3年3月31日現在) (棟)

根羽村		下條村		売木村		天龍村		泰阜村		喬木村		豊丘村		大鹿村		合 計	
甲種	乙種	甲種	乙種														
		1										1				7	
	1	3	5		1	1	8		1	13	11	8	13	2	3	168	191
																	2
																22	2
																	4
																13	2
	3				1		1		1	1		1	2		3	67	169
1		1	4	1						5	3	5	2	1		190	142
3		5	1	4	1	2	1	2	1	3		1	2	7	6	131	38
	7	9	1	1	5	2	2	1	7	3	12	1	5	3	2	233	782
		1			1					1		1				50	50
1		3		1		3		1		3		2				82	1
1		2		2		1	1	4	1	8	5	8		2		142	84
										1						5	
2		2		1		3		2		4		3		2		82	5
	1	1								2		1		1	1	14	14
						1										5	1
																1	2
	1	2			1		1	1	2	3	3	2	1	1		61	80
2	3	12	6	1	5	4	4	3	5	20	15	29	24	2	2	580	596
	1											1				11	14
2	2	1	2	1			1			3	4	5	11	1		161	234
9	5	8	6	3	2	6	7	4	5	14	16	8	20	2	8	331	571
5	1	8	2	4	4	3	2	6	1	10	6	11	2	5	3	499	425
1	2		1	1	1	1		3	1	3	7	5	3	2	2	138	430
1			1						6							20	10
28	27	59	29	20	22	27	28	27	31	97	82	93	85	31	30	3,017	3,845

中高層建物の状況

(令和3年3月31日現在) (棟)

階数	3～4階				5～6階				7～8階				9～10階				11～12階				13～14階				合計					
用途区分	署別				署別				署別				署別																	
	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署														
1	イ	2	1	1	1																					2	1	1	1	
	ロ	7	4	1	1																						7	4	1	1
2	イ	1																									1			
	ロ	1																									1			
	ハニ																													
3	イ	4																									4			
	ロ	19		2																							19		2	
4		16	1	2		1																					17	1	2	
5	イ	7	10	8	7	4	9		1	2			1														13	21	8	7
	ロ	175	73	44	25	12	9	1		3							1										191	82	45	25
6	イ	6	5	2	1	6	1		1	1																	13	6	2	2
	ロ	2	3	3	1																						2	3	3	1
	ハ	5		3	1																						5		3	1
	ニ	1																									1			
7		25	28	17	17																						25	28	17	17
8		3			1																						3		1	
9	イ																													
	ロ																													
10																														
11		1				2																					3			
12	イ	28	33	16	4	2																					30	33	16	4
	ロ																													
13	イ	3																									3			
	ロ																													
14		12	8	4	2																						12	8	4	2
15		89	22	10	13	9	1		1																		98	23	10	14
16	イ	176	37	32	10	23	1		2			2															203	38	32	10
	ロ	123	37	19	5	5	2		1																		129	39	19	5
17		1																									1			
18																														
合計		707	262	164	89	64	23	1	2	8	2		3				1										783	287	165	91

防火対象物の予防査察実施状況

(令和2年度) (回)

用途区分		署別回数		飯田消防署 防火対象物		伊賀良消防署 防火対象物		高森消防署 防火対象物		阿南消防署 防火対象物		合 計	
		甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種		
		イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ		
1	イ	劇場・映画館等						2				2	
	ロ	公会堂・集会場	2		5		13	2	6			26	2
2	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場／ダンスホール	1		2							3	
	ハ	風俗営業等											
	ニ	カラオケボックス等											
3	イ	待合・料理店				1	1					1	1
	ロ	飲食店	2	3	4		3		1			10	3
4		百貨店・マーケット	12		27		17	1	3			59	1
5	イ	旅館・ホテル	2	1	4		1	1	10			17	2
	ロ	共同住宅・下宿等											
6	イ	病院・診療所等	1									1	
	ロ	老人福祉施設等	1		2				2			5	
	ハ	デイサービス等			1		3		9			13	
	ニ	幼稚園・盲学校等											
7		小・中・高等学校等	3				7		1			11	
8		図書館等			1	1						1	1
9	イ	蒸気・熱気浴場											
	ロ	イ以外の公衆浴場											
10		車両の停車場											
11		神社・寺院等											
12	イ	工場・作業場	1				10	1	11			22	1
	ロ	映画スタジオ等											
13	イ	自動車車庫・駐車場						1					1
	ロ	飛行機格納庫											
14		倉庫					4	2				4	2
15		前各号に該当しない事業所	2		1			3				3	3
16	イ	複合用途防火対象物	20	2	5		12	1	6			43	3
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		1				1	1			1	2
17		重要文化財等	2	1	4		2		1	1		9	2
18		延長50m以上のアーケード											
合 計			49	8	56	2	75	13	51	1		231	24

防火対象物の防火管理状況

(令和3年3月31日現在) (棟)

用途区分		内訳	防火管理者 選任対象物数		防火管理者 選任届出数		消防計画 届出数	
			甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館等	7		7		6	
	ロ	公会堂・集会場	159	175	153	151	150	148
2	イ	キャバレー等		2		1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール	19	1	18	1	17	1
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等	3		3		3	
3	イ	待合・料理店	11		10		10	
	ロ	飲食店	56	130	52	88	48	79
4		百貨店・マーケット	160	72	149	47	145	46
5	イ	旅館・ホテル	95	10	90	6	87	6
	ロ	共同住宅・下宿等	52	4	39	2	36	3
6	イ	病院・診療所等	23	2	21	2	21	2
	ロ	老人福祉施設等	72	1	56		55	
	ハ	デイサービス等	108	8	95	6	96	6
	ニ	幼稚園・盲学校等	5		5		5	
7		小・中・高等学校等	74	1	72	1	70	1
8		図書館等	13	12	12	9	10	9
9	イ	蒸気・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	5		5		5	
10		車両の停車場						
11		神社・寺院等	54	36	45	34	45	30
12	イ	工場・作業場	114	4	99	4	91	4
	ロ	映画スタジオ等						
13	イ	自動車車庫・駐車場		1				
	ロ	飛行機格納庫						
14		倉庫	7	1	6	1	6	1
15		前各号に該当しない事業所	136	41	115	35	111	31
16	イ	複合用途防火対象物	306	101	221	71	205	71
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	26	10	19	8	19	7
17		重要文化財等	7		7		7	
18		延長50m以上のアーケード						
合 計			1,512	612	1,299	467	1,248	446

防火管理者資格取得講習会実施状況

(1) 甲種防火管理者講習受講者数

(人)

講習年度	受講者数	講習年度	受講者数	講習年度	受講者数
昭和36年度	297	昭和58年度	136	平成14年度	188
昭和37年度	96	昭和59年度	139	平成15年度	161
昭和38年度	74	昭和60年度	165	平成16年度	165
昭和39年度	66	昭和61年度	162	平成17年度	179
昭和40年度	90	昭和62年度	202	平成18年度	164
昭和41年度	71	昭和63年度	181	平成19年度	153
昭和42年度	101	平成元年度	104	平成20年度	206
昭和43年度	52	平成2年度	176	平成21年度	203
昭和47年度	124	平成3年度	150	平成22年度	198
昭和48年度	158	平成4年度	131	平成23年度	172
昭和49年度	168	平成5年度	150	平成24年度	163
昭和50年度	152	平成6年度	132	平成25年度	198
昭和51年度	119	平成7年度	105	平成26年度	187
昭和52年度	141	平成8年度	178	平成27年度	184
昭和53年度	146	平成9年度	148	平成28年度	169
昭和54年度	285	平成10年度	134	平成29年度	147
昭和55年度	239	平成11年度	150	平成30年度	174
昭和56年度	102	平成12年度	154	令和元年度	141
昭和57年度	166	平成13年度	131	令和2年度	134
甲種受講者合計			8,761		

(2) 乙種防火管理者講習受講者数

(人)

講習年度	受講者数	講習年度	受講者数	講習年度	受講者数
昭和62年度	60	平成11年度	36	平成25年度	24
昭和63年度	85	平成13年度	45	平成26年度	11
平成元年度	57	平成15年度	29	平成27年度	11
平成2年度	44	平成17年度	25	平成28年度	10
平成3年度	38	平成19年度	33	平成29年度	17
平成4年度	40	平成21年度	44	平成30年度	16
平成5年度	37	平成22年度	13	令和元年度	11
平成7年度	36	平成23年度	14	令和2年度	12
平成9年度	23	平成24年度	20		
乙種受講者合計			791		

消防同意事務件数

(令和2年度) (件)

用途区分		同意内容	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替 え	用 途 変 更	そ の 他	合 計
1	イ	劇場・映画館等									
	ロ	公会堂・集会場	1	1							2
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	風俗営業等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店	1	1							2
4		百貨店・マーケット	5					1			6
5	イ	旅館・ホテル									
	ロ	共同住宅・下宿等	18								18
6	イ	病院・診療所等	2							2	4
	ロ	老人福祉施設等	4								4
	ハ	デイサービス等	3	1							4
	ニ	幼稚園・盲学校等									
7		小・中・高等学校等									
8		図書館等									
9	イ	蒸気・熱気浴場									
	ロ	イ以外の公衆浴場									
10		車両の停車場									
11		神社・寺院等		1							1
12	イ	工場・作業場	21	14							35
	ロ	映画スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場		2							2
	ロ	飛行機格納庫									
14		倉庫	10	11				1			22
15		前各号に該当しない事業所	28	7							35
16	イ	複合用途防火対象物	6	1							7
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	6	2							8
17		重要文化財等									
18		延長50m以上のアーケード									
一般		専用住宅	46	13							59
		併用住宅	1	2							3
		その他	25	22		1					48
合 計			177	78		1			2	2	260

危険物施設の状況

(令和3年3月31日現在)

危険物施設 區別	計	製 造 所	小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	14kl 超 ト レ ー ラ ー	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	自 家 用	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	事 業 所 数	
検査済証交付施設数	751	3	522	102	46	0	13	207	4	141	17	9	226	140	59	6	0	80	438	
数量別	5倍以下	344		288	54	12		9	93	4	111		5	56	11	10	2		43	
	5倍を超え 10倍以下	156	1	121	27	9		4	76		1		4	34	11	11	2		21	
	10倍を超え 50倍以下	118	2	64	18	13			30		3			52	36	34	2		14	
	50倍を超え 100倍以下	49		30	1	6			5		18	9		19	18	3			1	
	100倍を超え 150倍以下	32		12	2	1			1		8	8		20	20	1				
	150倍を超え 200倍以下	21		2		1			1					19	18					1
	200倍を超え 1000倍以下	30		4		3			1					26	26					
	1000倍を超えるもの	1		1		1								0						
類別	単 独	第1類	1		1	1								0						
		第2類	1		1	1								0						
		第3類	0		0									0						
		第4類	746	3	517	97	46		13	207	4	141	17	9	226	140	59	6		80
		第5類	1		1	1									0					
		第6類	0		0										0					
	混在	2		2	2									0						
飯田市	369	1	249	61	24		5	88	2	65	6	4	119	67	23	6		46		
松川町	80	2	47	10	7		1	17		12			31	17	9			14		
高森町	71		55	11	2			18		22	11	2	16	12	5			4		
阿南町	31		22	2	1		1	11		7			9	6	3			3		
阿智村	66		51	7	1			35	2	5		1	15	9	3			6		
平谷村	11		8		1			5		1		1	3	2	1			1		
根羽村	7		5		1		1	1		2			2	2	1					
下條村	19		15	2	1		1	8		3			4	3	1			1		
売木村	10		5					4		1			5	4	2			1		
天龍村	10		9				2	5		2			1	1						
泰阜村	15		12	2	1		1	6		2			3	3	3					
喬木村	30		25	2	6			3		14			5	4	2			1		
豊丘村	20		12	4	1			4		2		1	8	5	3			3		
大鹿村	12		7	1			1	2		3			5	5	3					
計	751	3	522	102	46	0	13	207	4	141	17	9	226	140	59	6	0	80		

危険物施設立入実施件数

(令和2年度)

危険物施設	署別	予防課	飯田消防署	伊賀良消防署	高森消防署	阿南消防署	合計
製造所		1					1
屋内貯蔵所		1	1			1	3
屋外貯蔵所		2		1			3
屋外タンク貯蔵所			1				1
屋内タンク貯蔵所						1	1
地下タンク貯蔵所		8	8	3	8	14	41
簡易タンク貯蔵所							
移動タンク貯蔵所		11					11
給油取扱所		24			2		26
自家用給油取扱所							
第1種販売取扱所							
第2種販売取扱所							
一般取扱所		6	2	3	2	2	15
合計		53	12	7	12	18	102

各種申請届出書受理件数

(令和2年度)

区分		受理件数	区分	受理件数
危険物製造所等 設置変更許可申請	製造所		防火対象物使用開始届	173
	貯蔵所	18	火を使用する設備等の設置届	31
	取扱所	15	発電・変電・蓄電設備設置届	88
危険物製造所等 完成審査申請	製造所		ネオン管灯設備設置届	
	貯蔵所	17	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	121
	取扱所	14	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	21
危険物製造所等 譲渡引渡届出	製造所		防火管理者選・解任届	303
	貯蔵所	55	消防計画届	356
	取扱所	29	消防設備設置届	357
危険物製造所等 廃止届出	製造所		消防用設備点検結果報告	2,701
	貯蔵所	24	防火対象物点検結果報告	100
	取扱所	1	防火対象物権原者変更届	21
水張水圧検査申請書		1	防火対象物特例認定申請等	29
危険物製造所等休止(再開)届		2	高压ガス販売施設等の意見書交付申請	
危険物仮貯蔵・仮使用・仮取扱承認願		51	消防法令適合通知書交付申請	10
危険物保安監督者選解任届		30	り災証明申請	54
危険物製造所等品名数量変更届		4		
予防規程認可 変更申請書		8		

警 防



座光寺スマートインターチェンジ（令和3年3月28日開通）

消防機械等の現況

(1) 署所別配置状況

(令和3年6月1日現在)

機械等		署所											合計
		消防本部	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	
ポンプ車			2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	13
小型ポンプ付積載車								1		1			2
はしご車			1										1
化学車			1										1
救助工作車			1							1			2
水槽車								1					1
救急車			2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	14
人員輸送車		1											1
資機材搬送車			2							2			4
指揮車			1		1			1		1			4
支援車		3											3
査察広報車		3	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	15
一般車	連絡車等	3	1										4
	二輪車	1											1
車輛合計		11	13	3	7	3	3	8	3	9	3	3	66
無人航空機(ドローン)		1	1					1		1			4
ホース	40mm									15	10	9	34
	50mm		120	60	100	60	60	90	60	90	60	60	760
	65mm		68		30		30	3		55	7	7	200
化学消火薬剤(ℓ)			2,160	100	160	100	100	120	180	280	200	120	3,520
発泡管銃			11	2	2	1	1	1	1	2	2	2	25
消火原液吸入装置			2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	12
可搬式放水砲			2										2
ファイヤーレンジャー			26	8	20	8	8	20	8	20	8	8	134
空気呼吸器			38	5	18	4	5	13	4	12	5	5	109
空気ボンベ	4.7ℓ		2										2
	6.8ℓ		35	8	20	8	6	13	8	19	6	6	129
	8ℓ		54	4	8	5	5	15	7	12	5	6	121
	9ℓ		4		4								8
	50ℓ		6										6
ゴムボート(船外機付)			1							2			3
エアーテント			1		1			1		1			4

(備考) 伊賀良23号車の更新に伴い令和3年6月1日現在とした。

(2) 機械性能等(車両関係)

(令和3年6月1日現在)

消防ポンプ自動車等

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	ポンプ規格	製造メーカー	登録年月	緊援隊登録
飯田	1号	ポンプ車	802に 1	日野	2015	4.00	A-2	モリタ	H27. 2	○
飯田	2号	化学車	800の 2	日野	2015	6.40	A-2	モリタ	H27. 8	○
飯田	3号	はしご車(35m)	830そ 119	日野	2000	20.78	—	モリタ	H12. 1	○
飯田	5号	救助工作車	831ぬ 119	日野	2006	6.40	—	テイセン	H18. 1	○
飯田	7号	ポンプ車	830ゆ 119	三菱	2002	5.24	A-2	モリタ	H14.12	
羽場	11号	ポンプ車	830て 11	日野	2015	4.00	A-2	モリタ	H27. 2	○
伊賀良	21号	ポンプ車	800さ4857	三菱	2002	5.24	A-2	NDC	H14.12	
伊賀良	22号	ポンプ車	88す 3291	いすゞ	1997	4.57	A-2	NDC	H9. 1	
伊賀良	23号	ポンプ車	830た 23	日野	2021	5.12	A-2	モリタ	R3. 3	○
山本	31号	ポンプ車	830せ 31	トヨタ	2009	4.00	A-2	モリタ	H21.10	
龍江	41号	ポンプ車	830さ 41	トヨタ	2009	4.00	A-2	NDC	H21.10	○
高森	51号	ポンプ車	830さ 51	トヨタ	2009	4.00	A-2	NDC	H21.10	
高森	52号	積載車	88さ 9771	日産	1993	2.66	B-2	シバウラ	H5. 3	
高森	53号	水槽車(5t)	800は 176	三菱	2001	8.20	B-2	シバウラ	H13.11	
座光寺	61号	ポンプ車	831て 119	三菱	2005	4.89	A-2	モリタ	H17. 8	
阿南	71号	ポンプ車	830そ 71	日野	2020	4.00	A-2	モリタ	R2. 3	○
阿南	72号	積載車	88す 4388	トヨタ	1997	2.77	B-2	シバウラ	H9. 12	
阿南	75号	救助工作車	831め 119	いすゞ	2007	7.16	—	モリタ	H19. 3	
平谷	81号	ポンプ車	831す 119	三菱	2003	5.24	A-2	モリタ	H15.11	
和田	91号	ポンプ車	831た 119	日野	2004	4.00	A-2	モリタ	H16.10	

指揮車

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯田	指揮1号	指揮車	800す144	日産	2009	1.99	6	H21.9	
伊賀良	指揮2号	指揮車	800す143	日産	2009	1.99	6	H21.9	
高森	指揮5号	指揮車	830せ2902	トヨタ	2017	2.69	6	H29.2	
阿南	指揮7号	指揮車	800す5020	日産	2020	2.48	6	R2.5	

支援車

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
警防	支援1号	支援車	800す2124	日産	2013	2.48	8	H25.10	○
警防	支援2号	支援車	830せ3103	トヨタ	2019	2.69	10	H31.3	○
警防	支援3号	支援車	830さ1905	トヨタ	2019	2.69	5	R1.5	

人員輸送車

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
警防	102号	人員輸送車	800さ4454	トヨタ	2002	2.98	10	H14.8	

資機材搬送車

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯田	6号	資機材搬送車	88す4084	いすゞ	1997	4.57	3	H9.9	○
飯田	106号	資機材搬送車	88す3152	トヨタ	1996	4.16	5	H8.11	
阿南	76号	資機材搬送車	88す3153	トヨタ	1996	4.16	5	H8.11	
阿南	77号	資機材搬送車	800さ2565	トヨタ	2001	2.98	3	H13.2	

(備考) 伊賀良23号車の更新に伴い令和3年6月1日現在とした。

救急自動車

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	規格	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯田	1号	救急自動車	832つ 119	トヨタ	2018	2.69	高規格	7	H30. 7	
飯田	2号	救急自動車	88す 5944	トヨタ	1999	3.37	高規格	7	H11. 2	
羽場	11号	救急自動車	830せ2011	トヨタ	2011	2.69	高規格	7	H23. 7	
伊賀良	2号	救急自動車	830す2011	トヨタ	2011	2.69	高規格	7	H23. 2	
伊賀良	21号	救急自動車	830は 119	トヨタ	2000	3.37	2 B	7	H12.10	
山本	3号	救急自動車	830さ2902	トヨタ	2017	2.69	高規格	7	H29. 2	○
龍江	4号	救急自動車	830す2018	トヨタ	2018	2.69	高規格	7	H30. 2	
高森	5号	救急自動車	830す3103	トヨタ	2019	2.69	高規格	7	H31. 3	○
高森	51号	救急自動車	830ら 119	トヨタ	2002	3.37	2 B	7	H14.12	
座光寺	6号	救急自動車	830す2801	トヨタ	2016	2.69	高規格	7	H28. 1	○
阿南	7号	救急自動車	800す 780	日産	2010	3.49	高規格	7	H22.12	
阿南	10号	救急自動車	831そ 119	トヨタ	2004	3.37	2 B	7	H16. 2	
平谷	8号	救急自動車	830さ2801	トヨタ	2016	2.69	高規格	7	H28. 1	
和田	9号	救急自動車	830す2902	トヨタ	2017	2.69	高規格	7	H29. 2	

査察広報車等

所属	番号	種別	登録番号	車名	年式	総排気量	用途	定員(人)	登録年月	緊援隊登録
飯田	107号	査察広報車	830す 107	トヨタ	2020	1.49	広報	5	R2. 12	
飯田	109号	査察広報車	880あ 583	スズキ	2010	0.65	広報	4	H22. 6	
羽場	111号	査察広報車	880あ1047	スズキ	2014	0.65	広報	4	H26. 9	
伊賀良	121号	査察広報車	800す4510	トヨタ	2019	1.49	広報	5	H31. 3	
山本	131号	査察広報車	800さ3526	スズキ	2001	1.32	広報	5	H13.10	
龍江	141号	査察広報車	800さ5537	トヨタ	2003	1.49	広報	5	H15. 7	
高森	151号	査察広報車	800さ1458	日産	2000	1.76	広報	5	H12. 5	
高森	152号	査察広報車	88す 5751	日産	1998	3.15	広報	5	H10.12	
座光寺	161号	査察広報車	800さ3027	スズキ	2001	1.32	広報	5	H13. 6	
阿南	171号	査察広報車	80あ 1472	三菱	2002	0.65	広報	4	H14. 3	
平谷	86号	査察広報車	800す4080	トヨタ	2018	1.49	広報	5	H30. 3	
和田	96号	査察広報車	800さ1851	スバル	2000	1.99	広報	5	H12. 8	
予防	101号	査察広報車	800さ2454	日産	2001	1.76	広報	5	H13. 1	
予防	103号	査察広報車	800さ8411	スズキ	2006	1.32	広報	5	H18. 9	
警防	104号	査察広報車	800さ6878	トヨタ	2004	1.49	広報	5	H16.12	
総務	100号	連絡車	300そ6684	トヨタ	2001	1.98	連絡	5	H13. 5	
総務	105号	連絡車	301す5148	トヨタ	2018	2.69	連絡	10	H30.12	
総務	コムス	連絡車	飯田市 36	トヨタ	2014	0.05	連絡	1	H26. 6	
飯田		救急普及啓発	800す 233	日産	2009	4.47	広報	7	H21.11	

特殊災害等対応資機材配置状況

(令和3年4月1日現在)

種類	資器材	用途	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計	
防護服	陽圧式化学防護服	レベルA用	5										5	
	放射線防護服	R I 用	3										3	
	化学防護服	レベルB用	13	3	5	3	3	5	3	5	3	3	46	
	簡易型防護服(密閉型防護服)	レベルC用	32	3	6	3	3	6	3	6	3	3	68	
	防護手袋	中低濃度酸・アルカリ 有機溶剤用	21	3	5	3	3	5	3	5	3	3	54	
	防護長靴	ゴム半長靴	9											9
マスク	防毒マスク	全面マスク	13		3			3		3			22	
	防塵マスク	半面マスク	30	4	8	4		13	4	5			68	
測定機器	検知管式 ガス測定器	メタノール												
		アセトン												
		酢酸エチル												
		アンモニア	2											2
		シアン化水素												
		塩化水素												
	複合ガス検知器	一酸化炭素 酸素 可燃性ガス 硫化水素	2		1				1		1	1※	2※	8
可燃性ガス測定器	L P G	1	1				1	1	1				5	
	ガソリン他													
放射線測定器	放射線	16		1				1		1			19	
その他	化学剤検知紙	びらん剤	10											10
		神経剤												
	除染シャワー(一式)		1											1
	除染剤散布器		2											2

※平成26年度に長野県から貸付された火山ガス検知器(硫化水素、二酸化硫黄)含む。

緊急消防援助隊等の派遣実績

災害名	活動内容
平成8年12月6日 「蒲原沢土石流災害」	長野県北安曇郡小谷村で「蒲原沢土石流災害」発生 長野県消防相互応援協定に基づき、10日間延60名の職員を派遣
平成16年7月13日 「新潟・福島豪雨災害」	新潟県へ緊急消防援助隊を派遣 7月13日～15日(3日間) 救助工作車他車両2台 隊員6名
平成16年7月18日 「福井豪雨災害」	福井県へ緊急消防援助隊を派遣 7月18日～19日(2日間) 救助工作車他車両2台 隊員8名
平成16年10月23日17時56分 「新潟県中越地震」	被災地へ緊急消防援助隊を派遣 長岡市妙見町母子3名生き埋め崩落現場において活動 10月25日～29日(5日間) 救助工作車他車両3台 隊員15名
平成18年7月19日 「平成18年7月豪雨災害」	岡谷市 湊、川岸地区で発生した土砂災害現場へ長野県消防相互 応援協定に基づき救助隊を派遣 7月19日～21日(3日間)救助工作車他車両3台 隊員13名
平成23年3月11日14時46分 「東日本大震災」	三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震(M9.0、最大震度7) が発生、宮城県に緊急消防援助隊を派遣 3月11日～4月3日(24日間)救助工作車他車両2台 隊員76名
平成26年9月27日11時52分 「御嶽山噴火」	噴火警戒レベル1の段階で噴火、火口付近の登山客が被災した。 人的被害(長野県のみ) 死者56名、負傷者59名(重傷27名、軽傷32名)、行方不明者6名 (平成27年3月現在) 長野県消防相互応援協定に基づき9月28日～10月17日(20日間) 延べ47隊158名を派遣する。 (救助隊18隊90名、救急隊10隊30名、後方支援隊19隊38名) 長野県相互応援隊(13消防本部)延べ437隊1369名(20日間) 緊急消防援助隊(6都県隊)延べ648隊2685名(20日間)
平成26年11月22日22時08分頃 「長野県神城断層地震」	長野県北部(北緯36.7度、東経137.9度)を震源とする長野県神城 断層地震(震源の深さ5km、規模M6.7)が発生、長野県消防相互 応援協定に基づき、白馬村へ指揮隊・救助隊・後方支援隊を派遣 11月23日(2時30分～18時)3隊10名 緊急消防援助隊(6都県隊)22隊97名
平成27年7月 御嶽山噴火災害に係る 行方不明者再捜索	御嶽山噴火災害に係る行方不明者再捜索実施 長野県消防相互応援隊として再捜索隊を派遣 7月28日から11日間(捜索期間29日から9日間) 捜索隊員5名(捜索隊4名・後方支援部隊1名) (県内消防本部(捜索隊61名・後方支援部隊10名)) 捜索結果：行方不明者6名のうち1名を発見する。
令和元年10月12日～ 「令和元年東日本台風災害」 (台風第19号災害)	台風19号は、10月12日に長野県に再接近し、長野県内に初めて大 雨特別警報が発表されるほどの記録的な大雨をもたらし、千曲川 流域を中心とした河川の氾濫や土砂災害等により甚大な被害が 発生しました。 長野県消防相互応援協定に基づき、長野市長沼・豊野地区へ救助 隊・救急隊・後方支援隊を派遣 10月13日～10月16日(4日間)、延べ10隊35名 (救助隊4隊20名、救急隊2隊6名、後方支援隊4隊9名) 長野県相互応援隊(8消防本部)延べ91隊314名(4日間) 緊急消防援助隊(統括指揮支援隊・地上隊、2都県隊)延べ143隊 515名(3日間) 緊急消防援助隊(航空部隊)延べ8隊(機)52名(2日間)

災害名	活動内容
令和3年7月3日 「静岡県熱海市土石流災害」	東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨のなか、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で大規模な土石流が発生した。行方不明者の捜索のため、緊急消防援助隊長野県大隊として被災地に救助隊及び後方支援隊を派遣 7月12日～7月20日（9日間）1次隊～4次隊、8隊28名 （救助隊4隊20名、後方支援隊4隊8名）

飯田広域消防管内の地震被害想定

長野県では、平成25年度から26年度にかけて従来の地震被害想定を見直し、南海トラフ巨大地震や新たに評価が行われた県内の活断層を想定地震として追加するとともに、孤立集落の発生や災害時要配慮者の被災といった東日本大震災以降に明らかになった災害対応上の課題となる項目についても想定を行った。

平成26年の長野県神城断層地震のような県内の活断層による地震に備えるとともに、平成23年の東北地方太平洋沖地震のようなこれまで想定していなかった場所・規模の地震や、将来起こりうると言われている南海トラフの巨大地震に備えるため、県、市町村、地域の防災対策の基礎資料となる実践的な新たな被害想定を策定した。

1 季節・時刻により3種類のシーンを設定(風速を各地域の観測所における平均と最大を設定した。)

① 冬・深夜	<ul style="list-style-type: none"> 多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高い。 オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者が少ない。
② 夏・昼12時	<ul style="list-style-type: none"> オフィスや繁華街等に多数の滞り者が集中しており、自宅外で被災する機会が多い。 木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は、「冬・深夜」比較して少ない。
③ 冬・夕18時	<ul style="list-style-type: none"> 住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。 鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュ時に近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能障害による影響が大きい。

2 内陸型地震と海溝型地震(基本ケース、陸型ケース)

飯田広域消防管内の被害想定(最大被害)		内陸型		海溝型			想定シーン
		伊那谷断層帯	想定シーン	東海地震	南海トラフ巨大地震 基本ケース	陸側ケース	
最大震度		7		6弱	6強	6強	
建物被害(棟)	合計:全壊(棟)	4,170	冬・18時	20	20	1,290	冬・18時
	合計:半壊(棟)	14,300	強風	210	420	10,560	強風
人的被害	死者数(人)	210	夏・12時 強風	0	0	60	冬・深夜 強風
	負傷者数(人)	2,590		30	80	2,050	
	重傷者数(人)	1,380		10	30	1,110	
	自力脱出困難者数(人)	720		わずか	わずか	130	
避難者数	被災1日後(人)	9,110	冬・18時 強風	90	130	3,880	冬・18時 強風
	被災2日後(人)	32,700		1,640	3,420	23,570	
	被災1週間後(人)	24,470		810	1,680	15,690	
	被災1か月後(人)	19,020		100	240	9,590	
ライフライン	上水道断水人口(人)	146,210	被災直後	52,740	71,890	144,980	被災直後
	下水道支障人数(人)	123,960		47,160	61,560	118,500	
	都市ガス供給停止(戸)	2,490		0	0	0	
	電力停電棟数(棟)	66,650		24,200	31,970	66,550	
物資(1日後)	食料量(食)	14,270	冬・18時 強風	33,730	33,630	25,560	冬・18時 強風
	飲料水量(ℓ)	-314,710		-290	-29,040	-261,030	
	毛布量(枚)	970		11,790	11,730	7,260	

- (備考) 1 数値にあつては上記3種類のシーンの中で最大被害数値
 2 人的被害は、観光客を考慮
 3 都市ガス供給停止戸数については、飯田市のみの数値
 4 長野県地震被害想定調査報告書から引用(平成27年3月)

通信指令

火災をはじめとする各種災害に対する消防、防災活動を遂行するためには、迅速かつ的確な災害情報の収集、伝達体制が必要不可欠です。

飯田広域消防本部では、平成24・25年度に消防救急デジタル無線の整備に併せ、高機能消防指令システムを整備しました。

(1) 通信指令設備状況

(令和3年4月1日現在)

施設区分	数量	概要	備考
指令台	3	119番通報等災害受付(大規模災害時3⇒5に増設)	
指揮台	1	119番通報等災害受付、指揮統制	
統合型位置情報通知装置	1	119番通報時に災害点位置検索	
119番回線手動受付装置	6	非常時の119番受付	
自動出動指定装置	1	出動編成・活動状況管理・事案管理	
指令制御装置	1	119・加入・専用線・指令無線統制	二重化
気象観測装置	1	気温・湿度・雨量・気圧・風向・風速の観測、記録	
駆け込み通報装置	10	署所の不在時における駆け込み通報を、指令室にて受信する通報装置	
Net119緊急通報システム	2	音声での119番通報が困難な方からのインターネット端末を利用した緊急通報の受信	R2.8.1 運用開始
メール119受信装置	1	音声での119番通報が困難な方からの「Eメール」での緊急通報の受信	
FAX119受信装置	1	音声での119番通報が困難な方からの「FAX」での緊急通報の受信	
音声合成装置	1	指令内容を音声合成装置にて各署所に伝達	
指令伝達装置	1	出動指令、「指令書」の伝送	
署所端末装置	10	出動指令、「指令書」の受信	
システム監視装置	1	システムの運用状況を監視	24時間
長時間録音装置	1	指令台及び指揮台の通話並びに無線交信内容を録音	24時間
指令台連動メール配信システム	1	災害情報を消防職員・消防団員等へメール送信	登録者のみ
火災放送設備	1	市町村防災行政無線局を利用した火災放送	14市町村
緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)	1	総合行政ネットワークを介して、国と緊急情報を双方向通信するためのシステム	
全国瞬時警報システム装置(Jアラート)	1	衛星回線を介して国から送信される緊急情報(有事関連情報や気象関連情報)を受信するシステム	

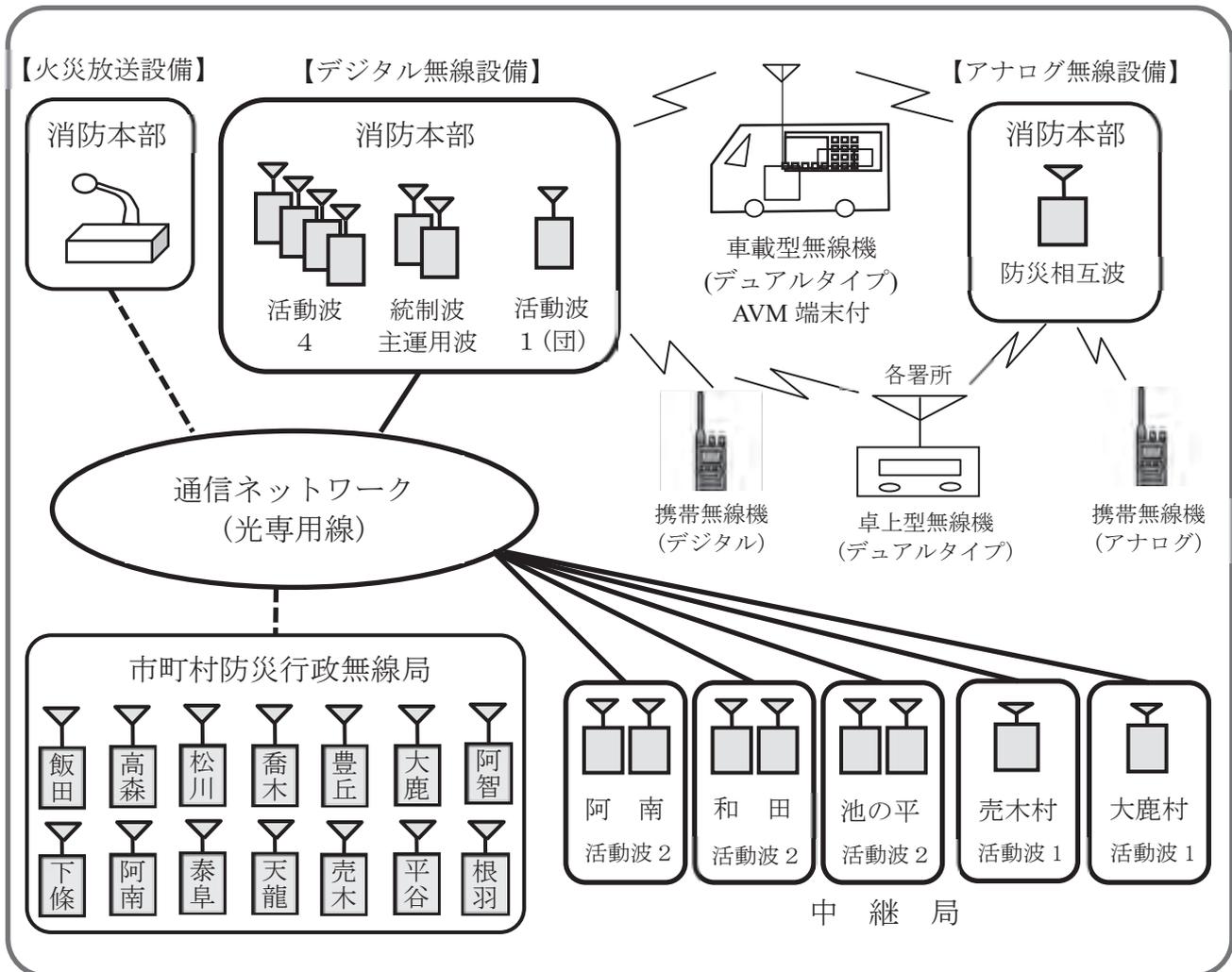
(2) 指令系設備



高機能消防指令システム

- 指令受付 4席（指揮台1）
- 自動出動指定装置
- 地図検索装置
- 支援情報端末装置
- Net119 緊急通報システム
- メール 119 受信装置
- FAX119 受信装置
- 位置情報通知システム
- 指令連動メール配信システム
- 気象観測装置
- 多目的情報表示板
- 車両動態（AVM）装置
- 高速道路表示板

(3) 無線系設備



(4) 消防通信施設の現況

(令和3年4月1日現在)

無線関係施設

デジタル無線設備							アナログ無線設備	
種別	基地局名	局数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	局数	周波数
基地局 (6)	消防本部	1	20	4+(1)	3 (切替方式)	1	基地局 (2)	【防災相互波】 ・消防本部 ・飯田市役所 りんご庁舎
	阿南消防署	1	20	2+(1)				
	和田分署	1	20	2+(1)				
	大鹿村	1	20	1				
	売木村	1	20	1				
	池の平	1	10	2				

(備考) (1)は消防団活用(飯田市)

種別	設備	所有数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	アナログ無線設備
移動局	卓上型無線装置 (デュアル型)*	10	5	5	3	7	5機(防災相互波のみ)
	車載無線機 (デュアル型)*	60	5	5	3	7	
	携帯無線機	54	1	5	3	7	6機(防災相互波のみ)

*デュアル型は防災相互波搭載

種別	設備	所有数	空中線電力(W)	活動波	統制波	主運用波	備考
固定局 (デジタル)	消防本部	1	20	1			恵那山トンネル基地局との 連絡用固定局
	恵那山トンネル (NEXCO 中日本の設備)	1	5	1			

IP無線設備

卓上型無線機	1	消防本部
携帯型無線機	26	消防本部2、飯田署関係4、伊賀良署関係5、高森署関係6、阿南署関係9

各種回線設置状況

	回線種別	回線数等	備考
緊急通報 専用回線	固定電話NTT	4回線	各地区接続数:最大2(飯田地区及び高森・豊丘地区は最大4)
	固定電話IP	4回線	4社(各社接続数:最大2)
	携帯電話	4回線	携帯電話専用回線
	衛星電話	1回線	
	Net119	1回線	令和2年8月1日運用開始
	FAX119	1基	消防本部
	メール119	1基	消防本部
	駆け込み電話	10回線	消防署(4)、分署(6)
	福祉電話	1回線	消防本部
一般加入電話	NTT電話	17回線	消防本部(6)、消防署(5)、分署(6)
	携帯電話	20回線	消防本部(2)、消防署(4)、救急車(14)
	衛星携帯電話	5回線	消防本部(1)、消防署(4)
その他	FAX	12回線	消防本部(2)、消防署(4)、分署(6)
	専用電話	5回線	飯田市内線(3)、NEXCO中日本(1)、中部電力(1)
	防災行政無線	1回線	長野県衛星系(平成27年度更新)
	iPad	22回線	警防課(4)、総務課(1)、予防課(2)、消防署(9)、分署(6)
	VSAT	2回線	音声用、映像送信用

統 計

火 災

救 急

救 助

その他



令和3年 春の火災予防運動 人波作戦

火 災

月別 出火状況

(令和2年)

区分 月	発生件数(件)							建物焼損棟数(棟)					焼損面積(㎡)		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	床 面 積	表 面 積	林 野 (a)
1月	3					4	7	5		2	3	10	278	3	
2月	2	1				7	10	2	2		1	5	271		
3月	4	2				6	12	11	1	9	3	24	1,300	248	72
4月	3					6	9	1		1	1	3	54	10	
5月	4		1			3	8	6		4		10	989	34	
6月	1		1			2	4			1		1		5	
7月															
8月	2		1			4	7	3			1	4	721		
9月	1					1	2	1				1	7		
10月	2		1				3	2		3		5	608	29	
11月	3						3	4		1	1	6	206	2	
12月	6		2			2	10	8	2	2		12	1,016		1
合計	31	3	6			35	75	43	5	23	10	81	5,450	331	73

区分 月	死傷者(人)			り 災 人 員	り災世帯(世帯)				損害額(千円)							
	死 者	傷 者	30 日		全 損	半 損	小 損	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	
1月		3		11	4		2	6	23,368			18			43	23,429
2月				4	1		1	2	30,821					3,416		34,237
3月	1			29	3		9	12	58,839	1,617	144			231		60,831
4月				5			1	1	624					141		765
5月	1	1		15	3		2	5	79,703		275			10		79,988
6月		2							16		30			354		400
7月																
8月	2			3	2			2	10,749		120					10,869
9月		1							167					3		170
10月				10	1		2	3	14,951		90			15		15,056
11月				5	1		1	2	17,486							17,486
12月	2	2		7	2	1	1	4	71,962		952					72,914
合計	6	9		89	17	1	19	37	308,686	1,617	1,629			4,213		316,145

市町村別 出火件数

(令和2年) (件)

市町村	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月								
飯田市		4	7	4	3	2	3		4	1	1		5	34	14		2			18
松川町		1	1						1		1			4	1		1			2
高森町			2	3	2	2	1						1	11	5	1	1			4
阿南町												1		1	1					
阿智村					1	2			1		1		1	6	3		1			2
平谷村																				
根羽村												1	1	2	1		1			
下條村										1			1	2	1					1
売木村				1	1									2						2
天龍村																				
泰阜村				2	1									3	1	1				1
喬木村		1		1		1								3	1	1				1
豊丘村		1		1	1	1						1		5	1					4
大鹿村									1				1	2	2					
合計		7	10	12	9	8	4		7	2	3	3	10	75	31	3	6			35

最近5年間の出火状況

(件)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	損害額 (千円)
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月									
各月最高件数		21	20	29	33	15	10	12	17	13	10	13	23								
年間最高件数 (平成7年)		11	19	20	16	5	6	12	17	8	3	5	21	143	49	38	6			50	502,301
最近5年間の状況	平成28年	11	8	18	5	5	4	5	9	8	1	4	4	76	32	12	4			28	203,966
	平成29年	4	9	17	7	11	9	1		2	1	4	8	73	33	4	5			31	112,763
	平成30年	7	11	17	8	5	3	3	6	2		6	4	72	33	7	7			27	181,106
	令和元年	7	12	14	16	12	4	1	4	5	10	4	7	96	46	10	6			34	125,684
	令和2年	7	10	12	9	8	4		7	2	3	3	10	75	31	3	6			35	316,145

市町村別 損害額・出火率

市町村	令和元年				令和2年			
	件数	構成比 (%)	損害額 (千円)	出火率	件数	構成比 (%)	損害額 (千円)	出火率
飯田市	54	56.3	83,367	5.44	34	45.3	143,137	3.47
松川町	9	9.4	1,693	7.05	4	5.3	514	3.16
高森町	7	7.3	11,350	5.46	11	14.7	44,254	8.65
阿南町	1	1.0	0	2.18	1	1.3	20	2.24
阿智村	7	7.3	1,552	11.15	6	8.0	14,947	9.68
平谷村	3	3.1	0	71.94				
根羽村					2	2.7	18,277	23.23
下條村	3	3.1	7	8.17	2	2.7	36,375	5.52
売木村	2	2.1	1,525	37.81	2	2.7		38.46
天龍村	3	3.1	2,839	24.75				
泰阜村	2	2.1	78	12.61	3	4.0	544	19.02
喬木村	3	3.1	15,950	4.90	3	4.0	45,345	4.94
豊丘村					5	6.7	19	7.76
大鹿村	2	2.1	7,323	20.70	2	2.7	12,713	20.90
合 計	96	100.0	125,684	6.10	75	100.0	316,145	4.82

(備考) 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数を表し、令和2年の全国の出火率は2.72、長野県は3.71である。

原因別 出火件数

(令和2年) (件)

原因区分	月												火災種別						計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
たばこ		1	1		1					1		1	4					1	5
こんろ	1							1					2						2
かまど																			
風呂かまど												1	1						1
炉																			
焼却炉												1						1	1
ストーブ								1				1	2						2
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道			1									1	2						2
排気管																			
電気機器					1										1				1
電気装置																			
電灯・電話等の配線	1				1								2						2
内燃機関																			
配線機器										1			1						1
火あそび																			
マッチ・ライター																			
たき火	2	4	7	3	3	1		1					1	2	1			17	21
溶接機・切断機				1								1	1					1	2
灯火																			
衝突の火花																			
取灰	1								1				1					1	2
火入れ		1											1						1
放火		1						1										2	2
放火の疑い		1				1		2					1					3	4
その他	2	1		3	2	1			1	1	2	2	7		2			6	15
不明・調査中		1	3	2		1		1				3	5	1	2			3	11
合計	7	10	12	9	8	4		7	2	3	3	10	31	3	6			35	75

時間帯別 出火状況

(令和2年)

区分 時間帯	発生 件数	種 別(件)						死傷者(人)		発生 割合 (%)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	死 者	傷 者	
0 時台	2	1					1	1		2.7
1 時台										
2 時台	1	1								1.3
3 時台	3	1		1			1		2	4.0
4 時台										
5 時台	2	2						1		2.7
6 時台	2	1					1			2.7
7 時台	3	3								4.0
8 時台	1	1								1.3
9 時台	6	3					3	1	2	8.0
10時台	6	2	1	1			2			8.0
11時台	4						4			5.3
12時台	6	2					4			8.0
13時台	1	1						1		1.3
14時台	7	1		1			5	1		9.3
15時台	4	2					2			5.3
16時台	5	1					4			6.7
17時台	5	2		1			2		2	6.7
18時台	6	1	1	2			2	1		8.0
19時台	3	2					1		2	4.0
20時台	4	1	1				2			5.3
21時台	1	1								1.3
22時台	2	1					1		1	2.7
23時台	1	1								1.3
不 明										
合 計	75	31	3	6			35	6	9	100.0

覚知別 通報状況

(令和2年)

覚知方法区分										
消防機関側		119通報			加入電話		警察 電話	駆け付 け通報	事後 聞知	その他
通報者側		(固定) NTT 以外	(固定) NTT	携帯 電話	固定 電話	携帯 電話	—	—	—	—
件 数	75	9	15	37	2	2			10	
割合 (%)	100.0	12.0	20.0	49.3	2.7	2.7			13.3	

救 急

月別・署別 救急出動件数

(令和2年) (件)

署 月	飯田消防署	羽場分署	伊賀良消防署	山本分署	龍江分署	高森消防署	座光寺分署	阿南消防署	平谷分署	和田分署	合計
1月	157	52	111	51	46	90	98	45	10	18	678
2月	123	52	86	44	46	75	75	44	17	18	580
3月	112	42	95	46	44	66	59	28	11	17	520
4月	106	50	69	36	24	71	60	26	1	19	462
5月	98	44	70	31	40	68	59	27	10	19	466
6月	106	51	69	34	25	80	45	25	16	13	464
7月	132	52	100	33	28	70	72	28	4	18	537
8月	142	55	87	50	39	81	75	34	20	18	601
9月	118	54	75	49	29	61	46	22	10	14	478
10月	143	57	97	61	33	83	61	37	15	17	604
11月	131	53	93	53	35	79	70	33	17	26	590
12月	152	72	102	49	37	80	77	35	11	20	635
合計	1,520	634	1,054	537	426	904	797	384	142	217	6,615

月別・事故種別 救急出動件数

(令和2年) (件)

事故種別 月	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
											転院搬送	医師搬送	その他	
1月	2		2	35	4	1	104	2	3	465	60			678
2月	1			35	1	1	105	1	5	371	60			580
3月				28	9		79		1	354	49			520
4月			1	24	2		59	1	3	330	42			462
5月	1			29	2		72	1	4	321	36			466
6月	2			24	8	2	85	2	7	289	45			464
7月		3		23	12	3	89		6	349	52			537
8月	2		1	29	9	3	102		4	402	49			601
9月				30	2	1	72	1	6	328	37	1		478
10月			1	24	7	4	93		1	418	56			604
11月			2	48	8	3	101	1	2	370	53	2		590
12月	1			31	7	2	115	1	4	411	62		1	635
合計	9	3	7	360	71	20	1,076	10	46	4,408	601	3	1	6,615

年齢区分・事故種別 搬送人員

(令和2年) (人)

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		新生児	死亡										
重症													
中等症											2	1	3
軽症											1	1	2
その他													
計											3	2	5
乳幼児	死亡												
	重症							3					3
	中等症							2			33	5	40
	軽症				5			48			65	1	119
	計				5			53			98	6	162
少年	死亡												
	重症				2					1		1	4
	中等症				1		5	7		2	13	5	33
	軽症				37		14	23	2	2	49	2	129
	計				40		19	30	2	5	62	8	166
成年	死亡							2		5	14	1	22
	重症		1		7	4		9		1	51	28	101
	中等症	1			27	17	1	47		7	269	61	430
	軽症	4			170	34	1	101	5	6	554	19	894
	計	5	1		204	55	2	159	5	19	888	109	1,447
老人	死亡			3	2			24		5	120		154
	重症				9	1		69		1	355	95	530
	中等症			1	36	14		374	1	2	1,669	344	2,441
	軽症	1			80	1		335	1		994	35	1,447
	計	1		4	127	16		802	2	8	3,138	474	4,572
合計	死亡			3	2			26		10	134	1	176
	重症		1		18	5		81		3	406	124	638
	中等症	1		1	64	31	6	430	1	11	1,986	416	2,947
	軽症	5			292	35	15	507	8	8	1,663	58	2,591
	計	6	1	4	376	71	21	1,044	9	32	4,189	599	6,352

救急隊員の行った応急処置

(令和2年) (件)

事故種別 応急処置	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	応急処置対象人員	6	1	4	376	71	21	1,044	9	32	4,189	599
止血				37	18		124	2	3	29	5	218
固定		1	2	209	22	8	327	1	5	56	42	673
人工呼吸									1	8	3	12
胸骨圧迫												
心肺蘇生			3	3			33		11	140	1	191
酸素吸入	1	1	4	20	4		105		16	1,106	167	1,424
気道確保			3	6	1		40		14	244	7	315
(うち、気管挿管)							10			5		15
(うち、気管挿管以外の特定行為気道確保)				3			4		6	72		85
保温	4	1	2	173	38	10	564	4	15	2,489	328	3,628
被覆	2			74	35		260	4	4	25	2	406
在宅療法継続				4			16			198	13	231
ショックパンツ 血圧保持												
除細動			1				1			17		19
静脈路確保	CPA前			3	2		2			40		47
	CPA			1	2		15		8	50		76
薬剤投与	アドレナリン			1	1		13		4	40		59
	ブドウ糖									21		21
	エピペン											
血糖値測定				1			4		1	165	1	172
その他の処置	4	1	4	356	70	20	1,002	9	31	4,125	553	6,175
血圧測定	6	1	1	369	71	21	986	9	20	4,015	589	6,088
心呼吸音聴取	2	1	4	243	29	8	437	3	24	2,614	237	3,602
血中酸素飽和度測定	6	1	1	367	71	21	1,002	9	20	4,047	595	6,140
心電図測定	3	1	4	310	66	16	957	7	29	4,091	561	6,045
合計	28	8	31	2,178	427	104	5,888	48	206	23,520	3,104	35,542

市町村別・事故種別 救急業務実施状況

事故種別 市町村	救 急 事																				
	出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送	火災			自然災害			水難			交通事故			労働災害			運動競技		
				出 動 件 数	搬 送 人 員	不 搬 送															
飯 田 市	4,268	4,085	205	5	4	2	2		2	5	2	3	228	229	15	41	42		14	15	
(旧市内)	804	765	46	1	1		1		1				42	44	1	7	8		1	1	
(座光寺)	168	159	11				1		1				21	19	4	4	4		1	1	
(松尾)	551	529	26							1		1	20	24		6	6		4	4	
(下久堅)	73	71	2	1	1								6	6							
(竜丘)	233	222	14							1		1	14	15	1	2	2		1	2	
(三穂)	43	41	2										2	2		1	1				
(山本)	220	214	6										8	8		4	4				
(伊賀良)	542	522	22										31	30	3	8	8		2	2	
(川路)	95	91	4										1	1							
(龍江)	124	119	7										5	7		1	1				
(千代)	61	58	4	2	2	1															
(上久堅)	50	48	2	1		1							2	2							
(鼎)	581	559	22							1	1		32	27	5	2	2		3	3	
(上郷)	564	538	27							1	1		40	40	1	4	4		2	2	
(上村)	27	26	1										2	2		2	2				
(南信濃)	132	123	9							1		1	2	2							
松 川 町	419	403	19										21	23		4	4				
高 森 町	497	490	14										29	35	1	5	5		3	3	
阿 南 町	240	232	8										1	1		3	3				
阿 智 村	330	316	17										16	18	1	3	2	1	1	1	
平 谷 村	38	34	4										3	3							
根 羽 村	57	55	2										7	7							
下 條 村	112	106	7	1	1								10	11					1	1	
壳 木 村	29	25	4							1	1		2	2							
天 龍 村	78	75	5										4	6		2	2				
泰 阜 村	41	40	1										1	1		1	1				
喬 木 村	207	202	5	1	1								14	14		7	7				
豊 丘 村	220	214	6				1	1		1	1		5	5		4	4		1	1	
大 鹿 村	49	44	5	1		1							1	1		1	1				
中 央 道	27	28	4	1		1							17	19	3						
三遠南信道	2	2											1	1							
管 轄 外	1	1																			
合 計	6,615	6,352	306	9	6	4	3	1	2	7	4	3	360	376	20	71	71	1	20	21	

故 種 別																							
一般負傷			加害			自損行為			急病			転院搬送			医師搬送			資器材搬送			その他		
出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送	出動件数	搬送人員	不搬送
695	674	22	7	6	1	32	22	10	2,849	2,704	147	389	387	2	1		1						
143	139	5	2	2		6	5	1	541	506	37	60	59	1									
32	32					3	3		105	99	6	1	1										
76	70	6	2	2		5	3	2	312	295	17	125	125										
12	12								54	52	2												
50	48	2	1	1		1		1	161	152	9	2	2										
9	8	1							30	29	1	1	1										
36	36					1	1		171	165	6												
78	77	1	2	1	1	4	4		391	374	17	26	26										
11	11					1		1	78	75	3	4	4										
24	22	2							88	83	5	6	6										
11	10	1				1		1	47	46	1												
16	16								31	30	1												
81	80	1				4	2	2	341	328	13	117	116	1									
88	85	3				6	4	2	377	356	21	46	46										
2	2								20	19	1	1	1										
26	26								102	95	7				1		1						
72	70	2	1	1		3	2	1	298	284	15	19	19								1		1
68	67	1				2	1	1	310	299	11	80	80										
42	40	2				3	3		128	122	6	63	63										
61	60	1							237	223	14	12	12										
6	6								29	25	4												
6	6								39	37	2	5	5										
21	21					2	2		63	56	7	14	14										
1	1								25	21	4												
12	11	1							59	55	4	1	1										
6	6					1		1	29	29		3	3										
39	37	2				2	1	1	137	135	2	7	7										
36	35	1	2	2					169	164	5	1	1										
10	9	1				1	1		26	25	1	7	7		2		2						
1	1								8	8													
									1	1													
									1	1													
1,076	1,044	33	10	9	1	46	32	14	4,408	4,189	222	601	599	2	3		3				1		1

医療機関別・事故種別 搬送人員

(令和2年) (人)

別告 示の 等	事故種別等		急	病 うち 管外	交通事故		一般負傷		その他		合 計	うち 管外
	開設者別				うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外				
救急告示医療機関	国立		14	14					5	5	4	4
	公立		2,109	6	206		611	2	517	3	3,443	11
	公的		308	4	11		41	2	17	7	377	13
	私的	病院	1,751	2	115		349		175	2	2,390	4
		診療所	4		38		39		5		86	
	小計		4,186	26	375	5	1,044	8	740	38	6,345	77
その他の医療機関	国立											
	公立								2	2	2	2
	公的											
	私的	病院							1		1	
		診療所	3								3	
	小計		3						3	2	6	2
医療機関計	国立		14	14	5	5	4	4	26	26	49	49
	公立		2,109	6	206		611	2	519	5	3,445	13
	公的		308	4	11		41	2	17	7	377	13
	私的	病院	1,751	2	115		349		176	2	2,391	4
		診療所	7		38		39		5		89	
	累計		4,189	26	375	5	1,044	8	743	40	6,351	79
その他の場所	接骨院等											
	その他				1						1	
	計				1						1	
合計			4,189	26	376	5	1,044	8	743	40	6,352	79

最近5年間の救急出動件数

(件)

事故種別 年	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成28年	11		9	520	65	40	1,207	11	64	4,611	641	7,179
平成29年	11	3	2	462	60	46	1,118	17	52	4,696	667	7,134
平成30年	9			459	60	38	1,235	21	45	4,960	690	7,517
令和元年	17		11	383	72	65	1,166	17	46	4,928	659	7,364
令和2年	9	3	7	360	71	20	1,076	10	46	4,408	605	6,615

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

講習等 年	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合計	
	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	回数
平成28年	1,918	141	50	6	6,030	202	7,998	349
平成29年	1,894	139	114	10	5,686	210	7,694	359
平成30年	2,047	167	45	6	6,869	221	8,961	394
令和元年	1,709	136	44	6	5,881	215	7,634	357
令和2年	743	53	54	3	2,221	112	3,018	168
合計	8,311	636	307	31	26,687	960	35,305	1,627

飯伊地域メディカルコントロール事後検証会実施状況

内容 年	事後検証会			書面検証 (件)	参加検証医 (人)	参加救急隊員 (人)
	実施回数	検証件数				
平成15年～27年	149回 第1回～第149回	562		2,092	662	5,030
平成28年	11回 第150回～第161回	36		215	28	356
平成29年	12回 第162回～第173回	46		181	42	463
平成30年	12回 第174回～第185回	47		118	44	346
令和元年	12回 第186回～第197回	48		155	38	343
令和2年	8回 第198回～第205回	32		286	26	195
合計		771		3,047	840	6,733

(備考) 検証は、C P Aのうち特定行為実施症例、心拍再開症例、65歳以下症例、特異事例症例、挿管症例等を実施。

救 助

救助出動状況

(令和2年)

事故種別 件数区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出動件数	3	28	7	3	8	7	2		29	87
活動件数	3	18	6	3	4	7	2		25	68
救助人員	3	18	6	3	4	8	2		24	68

人員・車両区分別 救助活動状況

(令和2年)

事故種別 人員区分(人) 車両区分(台)		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出動人員	救助隊員	13	110	25	13	34	32	8		70	305
	消防隊員	52	128	28	25	34	10	11		104	392
	救急隊員	3	105	26	11	25	19	6		83	278
	合計	68	343	79	49	93	61	25		257	975
活動人員	救助隊員	13	65	14	13	15	24	4		66	214
	消防隊員	41	71	22	25	15	4	8		80	266
	救急隊員		57	19	7	12	19	3		71	188
	合計	54	193	55	45	42	47	15		217	668
出動車両	救助工作車	3	28	7	3	8	5	2		12	68
	ポンプ車	9	25	2	5	7	2	1		16	67
	救急車	1	33	8	3	8	7	2		27	89
	その他車両	9	28	12	4	9	6	4		41	113
	合計	22	114	29	15	32	20	9		96	337
活動車両	救助工作車	3	17	4	3	4	3	1		11	46
	ポンプ車	7	13	2	5	3	1	1		12	44
	救急車		18	6	2	4	7	1		23	61
	その他車両	7	15	8	4	4	3	2		35	78
	合計	17	63	20	14	15	14	5		81	229

市町村別・事故種別 救助出動状況

(令和2年)

事故種別 市町村	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	事故種別																										
				火災			交通事故			水難事故			風水害等自然災害			機械による事故			建物等による事故			ガス及び酸欠事故			破裂事故			その他の事故		
				救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	救助出動件数	救助活動件数	救助人員			
飯田市	52	40	40	2	2	2	13	8	8	5	4	4	2	2	2	4	1	1	7	7	8	2	2	2				17	14	13
(旧市内)	13	10	10	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1				2	2	2	1	1	1				4	3	3
(座光寺)	8	6	6				3	2	2				1	1	1	2	1	1	1	1	1							1	1	1
(松尾)	6	5	5				2	2	2	2	1	1							1	1	1							1	1	1
(下久堅)	2	1	1													1												1	1	1
(竜丘)	3	2	2				1	1	1							1												1	1	1
(三穂)																														
(山本)	1	1	1				1	1	1																					
(伊賀良)	3	2	2	1	1	1	1														1	1	1							
(川路)	1	1	2																1	1	2									
(龍江)	1						1																							
(千代)	2	2	2																2	2	2									
(上久堅)	1																											1		
(鼎)	1	1	1																									1	1	1
(上郷)	3	3	2				1	1	1	1	1	1																1	1	
(上村)	1	1	1																									1	1	1
(南信濃)	6	5	5							1	1	1																5	4	4
松川町	6	4	4				3	1	1																			3	3	3
高森町	4	3	4				3	2	2																			1	1	2
阿南町	3	3	3																									3	3	3
阿智村	2						1									1														
平谷村	1																											1		
根羽村																														
下條村	2	2	2				1	1	1							1	1	1												
売木村	3	2	2				2	1	1	1	1	1																		
天龍村	1	1																										1	1	
泰阜村	1	1	1																									1	1	1
喬木村	3	3	3				3	3	3																					
豊丘村	3	3	3							1	1	1	1	1	1	1	1	1												
大鹿村	4	4	4	1	1	1										1	1	1										2	2	2
中央道	2	2	2				2	2	2																					
三遠南信道																														
管轄外																														
合計	87	68	68	3	3	3	28	18	18	7	6	6	3	3	3	8	4	4	7	7	8	2	2	2				29	25	24

月別・署別 救助出動件数

(令和2年) (件)

月	署	飯田 消防署	伊賀良 消防署	高森 消防署	阿南 消防署	その他	合計
1月		1	1	1	2		5
2月		2		3	1		6
3月			2	1	1		4
4月		3	1	2	2		8
5月		3	2	2	2		9
6月		1	3	2	1		7
7月		4	1	3	4		12
8月		1	1	4	2		8
9月		5	1	3	1		10
10月		3		2	2		7
11月		2	1	4			7
12月		1	2		1		4
合計		26	15	27	19		87

最近5年間の救助出動件数

(件)

年	事故種別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	よ機 る械 事 故に	よ建 る物 事 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 故の	合 計
平成28年		4	42	9		1	7	3		45	111
平成29年		1	39	5	1	3	5	3		37	94
平成30年		1	46	3	3	3	11	2		59	128
令和元年		6	37	12		3	3	2		52	115
令和2年		3	28	7	3	8	7	2		29	87

その他

ヘリコプターとの連携状況

(1) 市町村別

(令和2年)

市町村	防災ヘリ等		ドクターヘリ		合 計	
	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数
飯田市	1 (1)	1 (1)	9	7	10 (1)	8 (1)
松川町			1	1	1	1
高森町			1		1	
阿南町			4		4	
阿智村			2	2	2	2
平谷村			2	1	2	1
根羽村			4	3	4	3
下條村			2	1	2	1
売木村			6	4	6	4
天龍村			2	2	2	2
泰阜村						
喬木村	1 (1)	1 (1)			1 (1)	1 (1)
豊丘村						
大鹿村	3 (3)	2 (2)	6	6	9 (3)	8 (2)
管轄外						
合 計	5 (5)	4 (4)	39	27	44 (5)	31 (4)

(2) 災害別

(令和2年)

年	災害種別	防災ヘリ等		ドクターヘリ		合 計	
		要請件数	活動件数	要請件数	活動件数	要請件数	活動件数
令和2年	火 災						
	救 急			39	27	39	27
	救 助	5 (5)	4 (4)			5 (5)	4 (4)
	そ の 他						
	合 計	5 (5)	4 (4)	39	27	44 (5)	31 (4)
令和元年	火 災	3 (1)	1 (1)			3 (1)	1 (1)
	救 急			42	28	42	28
	救 助	5 (4)	4 (3)			5 (4)	4 (3)
	そ の 他						
	合 計	8 (5)	5 (4)	42	28	50 (5)	33 (4)

(備考) 1 ()は他県及び県警ヘリの件数で内数

2 要請したが活動のなかった事案は、他事案対処中、天候不良によるフライト不可、傷病者の状態や現場の判断などでヘリを不要としたもの。

3 医療機関から直接要請したドクターヘリ事案(病院間搬送等)は含まない。

種別・署別 出動状況

種別	飯田消防署		羽場分署		伊賀良消防署		山本分署		龍江分署		高森消防署	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
火災	36	296	9	29	32	164	12	40	8	29	30	191
救急	1,520	4,570	634	1,936	1,054	3,303	537	1,643	426	1,323	904	2,768
救助活動	64	368	7	25	14	72	4	13	6	19	28	177
風水害等の害	1	1	1	2	1	4						
演習・訓練等	2	13	2	6	6	38	4	15	3	7	3	6
広報・指導	146	212	102	196	145	206	201	316	115	157	261	356
警防調査	40	104	65	185	69	180	85	154	14	26	76	153
火災調査	21	60			23	51					44	104
特別警戒	6	17	14	14	2	2					6	19
捜索	2	11									5	6
予防査察	165	331	11	22	126	200	12	24	5	12	120	215
誤報等	4	23	2	6	5	29	2	8	1	3	4	14
その他	64	190	22	49	231	466	34	82	15	33	104	250
合計	2,071	6,196	869	2,470	1,708	4,715	891	2,295	593	1,609	1,585	4,259

(令和2年)

座光寺分署		阿南消防署		平谷分署		和田分署		消防本部		令和2年合計		令和元年合計	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
18	62	9	51	4	13					158 (75)	875	228 (96)	1,221
797	2,436	384	1,187	142	433	217	664			6,615	20,263	7,364	22,544
16	50	17	110	4	14	7	26			167 (87)	874	191 (115)	973
										3	7	5	10
4	6	8	15	2	3	3	6			37	115	66	233
121	190	188	257	90	93	166	297	85	100	1,620	2,380	744	1,173
34	53	54	78	48	55	52	92			537	1,080	320	741
1	1	11	23	1	1			4	7	105	247	106	259
										28	52	71	191
										7	17	3	12
9	16	94	189	19	27	12	21	12	22	585	1,079	542	971
6	18	2	10			3	9			29	120	17	72
19	44	128	225	23	27	9	19			649	1,385	932	1,950
1,025	2,876	895	2,145	333	666	469	1,134	101	129	10,540	28,494	10,589	30,350

(備考) () は、火災の発生件数及び救助活動の出動件数

月別 119番等緊急通報受付状況

(令和2年) (件)

種別 月	火災	救急	救助	その他の災害	応答なし	いたずら	間違い	試験	通報訓練	病院案内	問い合わせ	その他	転送	合計
1	15	689	5	18	18		26	61	18	25	27	45	2	949
2	18	594	6	17	13		19	42	18	11	22	32	3	795
3	30	527	3	12	13	1	23	77	29	11	24	28	3	781
4	15	467	7	15	24	3	24	40	12	9	25	30	2	673
5	15	471	9	5	16	1	20	24	20	16	21	23	4	645
6	9	469	7	12	15	1	22	76	19	16	20	23		689
7		543	15	36	13	2	31	45	24	20	20	55		804
8	12	612	8	26	30	1	23	57	17	22	18	21	3	850
9	8	487	11	15	13	1	19	90	46	16	23	19	4	752
10	4	618	6	12	13	1	27	76	57	21	29	34	1	899
11	6	606	7	20	14		29	67	53	15	16	21	2	856
12	19	652	4	27	21	1	28	66	44	15	37	14	3	931
合計	151	6,735	88	215	203	12	291	721	357	197	282	345	27	9,624

月別・受付回線別 119番等緊急通報受付状況等

(令和2年) (件)

種別 月	119番			その他				令和2年 通報合計	令和元年 通報合計	平成30年 通報合計	令和2年 テレホン サービス
	NTT	IP等	携帯	FAX 119	メール 119	Net 119	その他				
1	267	291	346		8		37	949	979	946	48
2	239	237	289		6		24	795	791	806	116
3	249	222	282		3		25	781	831	985	137
4	208	195	242		3		25	673	883	840	103
5	191	179	246		5		24	645	811	831	120
6	207	194	250	4	3		31	689	825	754	44
7	230	238	295		5		36	804	840	992	60
8	210	237	349	1	4		49	850	997	938	61
9	204	213	286	1	10	7	31	752	927	894	33
10	293	259	312	1	1	1	32	899	926	950	73
11	243	255	309	2	7	1	39	856	918	920	65
12	244	284	365		5	1	32	931	951	877	136
合計	2,785	2,804	3,571	9	60	10	385	9,624	10,679	10,733	996

- (備考) 1 「Net119」については、令和2年8月1日から運用開始。
 2 「その他」については、駆け込み、普通電話等による緊急通報。

知事の権限に属する事務の処理の概要

(1) 火薬類取締法関係

(令和2年度)

火薬取締法(以下「法」という。)及び火薬類取締法施行令の規定に基づく次の事項		事務処理件数					
		合計	飯田	伊賀良	高森	阿南	
(1)	法第17条第1項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可	譲受	17	1	4	9	3
		譲渡	3		2	1	
(2)	法第17条第3項の規定による火薬類の譲渡し又は譲受の許可の取り消し	譲受					
		譲渡					
(3)	法第17条第4項の規定による許可証の交付	20	1	6	10	3	
(4)	法第17条第6項の規定による有効期間の認定	20	1	6	10	3	
(5)	法第17条第7項の規定による許可証の書換え						
(6)	法第17条第8項の規定による許可証の再交付						
(7)	法第25条第1項の規定による火薬類の消費の許可	41	8	17	11	5	
(8)	法第25条第3項の規定による火薬類の消費の許可の取消						
(9)	法第27条第1項の規定による廃棄の許可						
(10)	法第29条第4項の規定による保安教育計画を定めるべき者の指定	11	1	3	6	1	
(11)	法第29条第5項において準用する同条第1項の規定による保安教育計画の設定又は変更の認可	11	1	3	6	1	
(12)	法第30条第3項の規定による取扱保安責任者又は取扱副保安責任者の選任又は解任の届出の受理((7)の許可に係わるものに限る。(13)から(15)までにおいて同じ。)	26	1	3	20	2	
(13)	法第33条第2項の規定による取扱保安責任者の代理者の選任又は解任の届出の受理	18	1	1	15	1	
(14)	法第34条第2項の規定による取扱保安責任者の解任命令						
(15)	法第42条の規定による報告の徴収	1	1				
(16)	法第43条第1項の規定による立入検査等((1)、(7)及び(9)の許可に係わるものに限る。(17)から(20)までにおいて同じ。)	33	7	13	9	4	
(17)	法第45条の規定による緊急措置						
(18)	法第46条第2項の規定による災害等発生時における報告の聴取						
(19)	法第47条の規定による災害等発生時における現状変更の指示						
(20)	法第48条第1項の規定による許可条件の設定	44	8	17	14	5	
(21)	法第52条第1項の規定による公安委員会の意見の聴取	33	7	16	7	3	
(22)	法第52条第2項の規定による公安委員会への通報((1)、(2)、(7)から(9)まで及び(17)の許可等に係わるものに限る。)						
(23)	火薬類取締法施行令第2条の規定による許可証の返納の受理	15	1	2	9	3	
合 計		293	39	93	127	34	

(2) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律関係

(令和2年度)

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)の規定に基づく事務事項		事務処理件数				
		合計	飯田	伊賀良	高森	阿南
第38条の3の規定による液化石油ガス設置工事の届出の受理		8	2	4	2	

(備考) 事務事項は、知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年長野県条例第46号)別表に定める項及び号と整合するものである。

消 防 団



令和2年 秋の火災予防運動
飯田市消防団と飯田広域消防本部の合同消防演習
令和2年11月1日(日)



喬木村消防団 実践的講習会
令和3年6月20日(日)

関係市町村の消防団長・副団長

(令和3年4月1日現在)

市町村名	団長名	副団長名
飯田市	坂巻剛弘	小木曾智成
		黒岩正明
		滝沢功
松川町	西尾宏徳	山田裕一
高森町	佐々木宣之	藤田剛史
阿南町	木村一晃	熊谷英樹
阿智村	奥澤享央	熊谷祐太
平谷村	原竜二	塚田賢一
根羽村	松下直樹	石原幸伸
下條村	久保田直也	熊谷智史
売木村	伊東照男	奥田勝彦
天龍村	大平崇史	上野洋平
泰阜村	山崎孝琢	林成人
喬木村	松澤洋一	横前敏武
豊丘村	壬生要士	菅沼祐介
大鹿村	菅沼孝哲	北島泰治

消防団員の現況

(1) 年齢別消防団員数

(令和3年4月1日現在) (人)

市町村 年齢別	飯田 市	松川 町	高森 町	阿南 町	阿智 村	平谷 村	根羽 村	下條 村	売木 村	天龍 村	泰阜 村	喬木 村	豊丘 村	大鹿 村	合 計
分団数	18	2	3	4	8	1	1	5	1	2	2	2	3	1	53
条例定数	1,205	296	200	190	420	40	60	140	50	75	90	180	180	40	3,166
20歳未満	3		2 (2)		4			4				1	1		15 (2)
20歳～ 29歳	446 (45)	122 (8)	91 (7)	42	85 (5)	9	10 (1)	74 (2)	8	16 (2)	29	58 (3)	51 (8)	12 (6)	1,053 (87)
30歳～ 39歳	527 (14)	96	48 (2)	68 (5)	154 (1)	24	26 (4)	60 (1)	11 (1)	23 (3)	48	71 (4)	43 (2)	29 (4)	1,228 (41)
40歳～ 49歳	43 (1)	30	2	27 (2)	89	5	5	2	8 (1)	7	2	13	4		237 (4)
50歳以上	19	9		9	18				6			22		3	86
団員数	1,038 (60)	257 (8)	143 (11)	146 (7)	350 (6)	38	41 (5)	140 (3)	33 (2)	46 (5)	79	165 (7)	99 (10)	44 (10)	2,619 (134)
平均年齢	30.8	31.4	27.6	34.6	35.4	34.0	33.6	28.5	38.5	32.2	30.8	30.3	28.9	31.8	31.5

(備考) 1 下段()は、女性団員数で内数
2 「令和3年度消防現勢等調査」により作成

(2) 消防機械の現況

(令和3年4月1日現在) (台)

市町村 車種等	飯田 市	松川 町	高森 町	阿南 町	阿智 村	平谷 村	根羽 村	下條 村	売木 村	天龍 村	泰阜 村	喬木 村	豊丘 村	大鹿 村	合計 台数
消防ポンプ自動車	17	4	2	3	1	1	1								29
小型動力ポンプ付積載車	57	8	11	22	21	3	10	5	4	10	7	15	12	8	193
小型動力ポンプ	10		1		18	4	2	17	2	1	2				57
小 計	84	12	14	25	40	8	13	22	6	11	9	15	12	8	279

(備考) 「令和3年度消防現勢等調査」により作成

(3) 消防団出動状況

(令和2年)

市町村		種別	火災	救助活動	風水害等災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他	合計
飯田市	出動回数	27		77	275	845	9	116	2	18	1	6	1,376	
	出動延人員	1,542		569	2,846	7,912	107	745	33	483	58	691	14,986	
松川町	出動回数	4		1	24	12		5		3			49	
	出動延人員	207		61	1,417	540		200		600			3,025	
高森町	出動回数	11			35	36		4					86	
	出動延人員	583			3,000	1,300		170					5,053	
阿南町	出動回数	1			3					2			6	
	出動延人員	49			134					145			328	
阿智村	出動回数	9			14	29		1	1	1	1		56	
	出動延人員	599			649	314		142	50	206			1,960	
平谷村	出動回数				2	1		4					7	
	出動延人員				44	5		8					57	
根羽村	出動回数	2			10	24		4					40	
	出動延人員	67			410	600		40	55				1,117	
下條村	出動回数	1		2	15	20				1			39	
	出動延人員	96		104	500	200				8			908	
売木村	出動回数	1			1			4		1			7	
	出動延人員	24			14			60		14			112	
天龍村	出動回数				6	2		1			1		10	
	出動延人員				129	22		13			35		199	
泰阜村	出動回数	3			4	3		2				14	26	
	出動延人員	180			129	26		93				56	484	
喬木村	出動回数	2		4	2								8	
	出動延人員	173		102	164								439	
豊丘村	出動回数	4			6	26				1			37	
	出動延人員	156			273	816				53			1,298	
大鹿村	出動回数	2			6	22		10		2			42	
	出動延人員	47			105	220		64		36			472	
合計	出動回数	67		84	403	1,020	9	151	3	29	3	20	1,789	
	出動延人員	3,723		836	9,814	11,955	107	1,535	83	1,545	93	747	30,438	

(備考) 「令和3年度消防現勢等調査」により作成

関係団体



南信州危険物安全協会 表彰伝達式
令和2年7月1日(水)



県少年消防クラブ 結成式
令和2年9月6日(日)

南信州危険物安全協会 (令和3年4月1日現在)

1 会の目的

本会は、会員相互の融和親睦と危険物の取り扱い及び管理の向上を図り、これに因する災害防止に努め、もって各事業所の健全なる振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2 会員 (251会員)

一般会員数	220
賛助会員数	31

3 危険物施設数 (290施設)

指定数量	10倍未満	106
指定数量	10倍以上300倍未満	176
指定数量	300倍以上1000倍未満	6
指定数量	1000倍以上	2

4 発足年月日 昭和29年5月1日

飯田地区防火管理者協議会 (令和3年4月1日現在)

1 会の目的

この会は、消防関係法令の定める防火管理に関する研究を行い、安全管理を徹底し、災害の未然防止に努め、社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。

2 会員 (422会員)

(1) 一般会員 (408会員)

部会別	業種別	防火対象物	事業所
第1部会	工場関係	工場・作業所・自動車車庫・倉庫	56
第2部会	学校関係	小中学校・高等学校・大学・各種学校・幼稚園・児童福祉施設	77
第3部会	官公署事務所関係	官公署・事務所・銀行・図書館	60
第4部会	公衆収容関係	映画館・遊技場・料理店・飲食店・百貨店・店舗・浴場	66
第5部会	宿泊収容関係	旅館・ホテル・病院・老人ホーム・寄宿舍・共同住宅	81
第6部会	公衆集合関係	神社・寺院・公会堂・集会場	68

(注)複合防火対象物は、その主たる用途により分類する。

(2) 賛助会員 (14会員)

3 発足年月日 昭和37年7月4日

飯田地区幼少年婦人防火委員会 (令和3年4月1日現在)

1 会の目的

この会は、幼年消防クラブ・少年消防クラブ及び婦人防火クラブの新たな結成及び既成クラブのクラブ員の増員並びに活動の充実を推進することを目的とする。

2 事業

この会は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 防火・防災知識の普及徹底
- (2) 防火・防災のための研修及び訓練
- (3) 各クラブの組織の拡大及び強化
- (4) 各クラブ間の連絡及び調整
- (5) 優良クラブの表彰
- (6) その他本委員会の目的達成のため必要と認める事項

3 クラブ数

市町村	クラブ	婦人防火クラブ	少年消防クラブ	幼年消防クラブ
飯田市			4	37
松川町			1	5
高森町				5
阿南町				3
阿智村		1	1	6
平谷村				1
根羽村			1	1
下條村				1
売木村				1
天龍村			1	1
泰阜村				1
喬木村			1	3
豊丘村				3
大鹿村				1
計		1	9	69

4 発足年月目 平成2年10月1日

消 防 年 報
2 0 2 1

発 行 令和3年8月
編 集 飯田広域消防本部
飯田市東栄町3345番地
TEL (0265) 23-0119
FAX (0265) 23-6007

南信州